

2024 年度 (公社)新潟県栄養士会 第4回理事会 次第

日時：2024 年 10 月 19 日 (土) 13:00~16:30

会場：Zoom

<https://zoom.us/j/97424705191?pwd=JWo6dgp8Qpv9Hxrop6DBmmKHw374oU.1>

ミーティング ID: 974 2470 5191

パスコード: 4BF4cF

(12 時 00 分~入室可能: 音声、操作等確認)

1	会長挨拶		
2	議題		
	(1) 2025 年度新潟県栄養士会事業計画 (案)	P 3~	斎藤会長
	(2) 支部理事 (支部長、副支部長等) 情報交換会の開催について	資料なし	山田専務
	(3) 2025 年度新潟県栄養士会総会について (日時, 場所)	資料なし	山田専務
	(4) 新潟県栄養士会 80 周年記念事業について	P 7	村山副会長
	(5) 賛助会員入会申請について	P 8	阿部事務局長
3	報告		
	(1) 2024 年度上半期の活動計画および進捗状況		
	① 各業務執行部 (学術部, 事業部, 広報・情報部, 研修部, 栄養ケア・ステーション部)	P 9~	業務執行部長
	② 各種委員会 (災害対策委員会, 会員増対策委員会, 顕彰・表彰検討委員会)	P35~	委員会委員長
	③ 各支部	P41~	支部長
	④ 各職域事業部	資料なし	職域部長
	(2) 新潟県栄養士会勤労者支援・地域活動事業部統合について	P60	阿部事務局長
	(3) 2024 年度関東甲信越支部会長会議について	P 61~	斎藤会長
	(4) 新潟県栄養士会 HP における食形態一覧表提示について	P 63~	久志田栄養 CS 部長
	(5) 2024 年度上半期の代表理事、専務理事業務執行報告	P 65~	代表理事, 専務理事
	(6) 2024 年度事業予算提出の留意事項等について	P 69	阿部事務局長
	(7) 議事録作成のポイントについて	P 70	斎藤会長
	(8) 新潟県栄養士会として活動する際の留意事項について	P 71	山田専務
	(9) その他		
4	その他		
	次回 ・常任理事会 2025 年 2 月 26 日(水) 18:30~ Zoom ・理事会 2025 年 3 月 08 日(土) 13:00~ Zoom		
5	閉会の挨拶		高橋副会長

*当日の緊急連絡先：新潟県栄養士会事務局 025-224-5966 (12 時以降)

または 090-7522-7041 (事務局長_阿部幸子)

理事会参加予定者名簿

		氏名	(役職)	
理事	代表理事	会長	斎藤 トシ子	
		副会長	村山 稔子	
		副会長	高橋 洋平	
	専務理事		山田 祥子	
	支部理事	村上	宮村 愛	副支部長 (支部長代理)
		新発田	伊藤 涼子	支部長
		新潟市	治田 麻理子	支部長
			石墨 清美江	部員
			竹内 瑞希	部員
			久志田 順子	部員
		佐渡	佐々木 佳子	支部長
		三条	内田 悠香	支部長
		長岡	中俣 裕子	支部長
			山岸 美恵子	副支部長
		柏崎	近藤 由香里	副支部長 (支部長代理)
		魚沼	鶴川 一寛	支部長
		十日町	村山 千晶	支部長
		上越	内山 智子	支部長
	職域事業部理事	公衆衛生	土田 直美	事業部長
		研究・教育	堀川 千嘉	事業部長
		学校健康教育	丸山 朝美	事業部長
医療		小林 昌子	事業部長	
勤労者支援		渡辺 絵里子	事業部長	
福祉		斉藤 幸子	事業部長	
地域活動		山川 琴栄	事業部長	
監事		角谷 ヒロ子		
監事		大平 真由美		
事務局長		阿部 幸子		

2025 年度新潟県栄養士会事業計画（案）

新潟県栄養士会は、「栄養（食）を通して、ひとびとが、いつ、いかなるときも、喜びと尊厳をもって幸せに生きることを支え助ける」ことを使命とし、最新の科学的根拠に裏付けられた高度な知識と技術を持って、保健・医療・福祉・教育・スポーツなど様々な領域の栄養課題の解決に資する事業を行っている。

2025 年度は、2024 年度の事業実績を踏まえ、以下の事業計画を遂行する。

I 公1事業 公衆衛生・健康づくり・食育事業及び栄養相談・指導事業

事業概要

本事業は、県民の健康保持増進、健康寿命の延伸、健康格差の是正と、疾病の発症予防及び重症化予防を通し、望ましい食習慣の定着、生活の質の向上への寄与を目的に、行政、地域、学校、事業所及び多職種や関係機関等と連携し、「健康づくり啓発に資する事業」及び「健康づくり支援に資する事業」を行うものである。

1 健康づくり啓発に資する事業

1-1 講演会、セミナー、イベント等での展示・情報提供事業

事業内容の要旨・趣旨 関連する職能団体、行政等から協力依頼のある、市民・県民を対象としたイベントやフェアなどに支部または職域事業部会員が参加し、ブース展示や情報提供、栄養・食事相談を行い、健康づくり啓発を行う。財源は会費または理事等が応募し獲得した助成事業費とする。さらに 2025 年度は、新潟県栄養士会 80 周年記念事業を行う。本事業の財源は、特定費用準備資金等とする。

1-2 行政・団体等からの受託事業

事業内容の要旨・趣旨 行政や他団体などから委託され、新潟県栄養士会が受託した健康啓発事業。財源は委託者の拠出する経費とする。

1-3 情報提供事業

事業内容の要旨・趣旨 新潟県栄養士会のホームページ、日本栄養士会栄養ワンダー、ラジオ、テレビ等を活用し、最新の科学的根拠に基づく、栄養情報を発信する。財源は会費とする。

2 健康づくり支援に資する事業

2-1 新潟県栄養ケア・ステーション事業

事業内容の要旨・趣旨 新潟県栄養ケア・ステーションは、地域住民はもちろん、医療機関、自治体、健康保険組合、民間企業、保険薬局などを対象に、管理栄養士・栄養士を紹介し、用途に応じたサービスを提供し、地域包括ケアの一翼を担う。さらに令和 6 年度の診療報酬、介護報酬等でも栄養ケア・ステーションの活用が求められていることから、県内の認定栄養ケア・ステーションまたは機能強化型栄養ケア・ステーションの増加を図る。具体的な事業は以下のとおりである。一部の業務では、業務報酬等を予定する。

2-1-1 在宅医療（栄養）推進事業

事業内容の要旨・趣旨 本事業は新潟県の基金事業である。事業内容は、在宅療養者等の疾病の重症化予防等の為「より良く食べる」ことを主軸におき、栄養士の同職種連携、多職種連携の充実を図る仕組みづくりや、普及啓発に向けた事業である。具体的な取組内容は、栄養士間の栄養情報連携に係る「新潟版の栄養情報提供書ひな形の作成」および新潟県栄養士会ホームページに掲載している「地域別食形態一覧の活用化」の事業をより一層推進する。さらに、各支部単位での検討会や研修会を開催し、課題の周知と取り組みの方向性を会員間での情報共有に努める。財源は新潟県基金事業から拠出される補助金等とする。

2-1-2 在宅訪問栄養食事相談事業

事業内容の要旨・趣旨 本事業は新潟県栄養士会が新潟県後期高齢者医療広域連合から委託された低栄養対策事業である。目的は、低栄養状態及びフレイル状態にある後期高齢者医療制度の被保険者の居宅を訪問し、個々の状況に合わせて実効性のある効果的な栄養指導を行うことで、栄養改善及び身体機能の低下予防を促すと共に、生活機能の維持・継続を図ることである。財源は、新潟県後期高齢者医療広域連合から拠出される経費とする。

2-1-3 CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業

事業内容の要旨・趣旨 本事業は新潟県栄養士会が長岡市から委託された事業である。目的は、糖尿病の重症化を防ぎ、人工透析への移行を抑制することである。具体的な取組内容は、長岡市医師会、長岡地域糖尿病対策推進会議及び長岡市の三者で検討した「長岡市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」をもとに、長岡市の会員がチームを組み、対象者への支援を行っている。2025年度は、数年先の展開も鑑み、チームメンバーの構成または内容について関係者と相談することとする。財源は、長岡市から拠出される経費とする。

2-1-4 地域ケア個別会議助言者育成事業

事業内容の要旨・趣旨 本事業は新潟県から委託された事業である。平成 28 年度から実施している「介護予防活動普及展開事業」において、自立支援・介護予防の観点から実施する「地域ケア会議」に助言者として参加できるような人材育成のための研修会などを行う。財源は新潟県から拠出される経費等とする。

2-1-5 人材派遣・育成事業

事業内容の要旨・趣旨 本事業は新潟県栄養ケア・ステーションの本部事業である。地域住民または企業等からの依頼を受け、食・栄養に関する相談、疾病予防、治療、介護の食支援、特定保健指導、セミナー等の講師、調理教室のサービスを推進する。また、栄養ケア・ステーションに登録している管理栄養士・栄養士を対象に、地域や在宅で活動するために必要な知識や技術を備えた人材育成への支援事業を行う。さらに、栄養ケア・ステーション拡大に向け、チラシまたはホームページを活用し、新潟県栄養ケア・ステーションの活動を他団体または非会員などにも、周知する。財源はセミナー受講料、特定費用準備資金とする。

2-1-6 認定栄養ケア・ステーションとの情報交換、拡大事業

事業内容の要旨・趣旨 新潟県内に設置されている栄養ケア・ステーション同士のネットワーク形成を図るとともに、認定栄養ケア・ステーションまたは機能強化型栄養ケア・ステーションを拡大するための対策を検討する。

財源は会費とする。

2-2 非常災害時の被災者健康支援事業

事業内容の要旨・趣旨 大規模自然災害時に、迅速に被災地での栄養・食生活支援活動ができるよう日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）のリーダーまたはスタッフの人材育成及び新潟県栄養士会の体制整備を行う。

2-2-1 JDA-DAT リーダーまたはスタッフ育成研修事業と支援活動事業

事業内容の要旨・趣旨 国内外で大規模災害が発生した際、管理栄養士・栄養士は、在宅支援、避難所支援、施設支援、特殊栄養食品ステーションの運営などに従事することが求められることから、これらに対応できる人材育成のための研修会などを行う。さらに、被災地からの支援要請に対応できるよう、人材確保に努める。

研修事業の財源は研修会参加費、会費とする。支援活動事業は、状況に応じて支援金を募る。

2-2-2 災害支援体制整備事業

事業内容の要旨・趣旨 災害対策 新潟県栄養士会は、指定栄養士会として JDA-DAT に申請しているため、大規模災害が発生した場合、日本栄養士会、国・自治体等からの要請をうけて、速やかに支援活動を行う必要がある。支援活動を円滑に進めることができるよう、新潟県栄養士会としての災害マニュアルを作成するとともに、その他の整備を検討する。災害支援マニュアルについては、新潟県栄養士会の HP など周知する。

財源は、会費とする。

II 公2事業 学術・技術の振興・普及事業

事業概要

本事業は、エビデンスに基づく産官学、地域等と連携した調査・研究・発表を行い、実践的な取り組みを通して形成された有効性の高い技術を科学として理論化し、社会的に共有し県民の健康づくりに資する事業を行う。さらに、県民の健康課題に対応するため、管理栄養士・栄養士の職業倫理の意識・技術を高め、人々の栄養と食に対するニーズを満たす「栄養の指導」を実践する専門職としての資質を十分に備えた人材育成への支援事業を実施する。また、

1-1 調査・研究に関する事業

事業内容の要旨・趣旨 公衆衛生事業部が中心となり、県内市町村の保育園・認定こども園、幼稚園 3～5 歳児を対象に、生活習慣病予防や食育の推進など、生涯を通じた健康づくりを行うため、「小児期の肥満・やせ発育調査」を実施した（調査数 40,004 名）。2025 年度は、公衆衛生事業部、学術部及び研究教育職域事業部が連携し、データの整理について検討する。

財源は会費とする。

1-2 人材育成事業

事業内容の要旨・趣旨 本事業は、県民が、より質の高い「栄養の指導」を、いつでも、どこでも手軽に受けることができるよう、管理栄養士、栄養士の養成教育の支援事業を行う。具体的な事業は以下のとおりである。

1-2-1 生涯教育実務研修事業

事業内容の要旨・趣旨 管理栄養士・栄養士の学術・技術の向上に資することを目的に、日本栄養士会と連携し、生涯教育を推進する。

財源は、受講料、会費とする。

1-2-2 支部別・職域事業部別研修事業

事業内容の要旨・趣旨 支部別または職域別に、業務の適正に的確に対応できる専門的知識・技術の向上を図る研修を行うとともに、支部・職域間の連携・交流を深める。

財源は研修会参加費、会費とする。

Ⅲ その他に関する事業

事業概要

本会は、公益目的事業を実施する団体であり、法人運営の基本は、本会が公益目的事業の旺盛な展開をとおして本会の目的を達成する基盤として、透明で機動的な意思決定と責任ある執行、そして、健全な財政運営を確保することにある。2025年度も、適切な法人運営に努める。

1 会務運営に関する取組み

1-1 総会、理事会の適切な運営

1-2 各種事業の企画や実施のための支部、事業部、各種委員会等の運営

1-3 多職種・多団体とのネットワークの構築

1-4 その他、上記に関連した法人運営にかかる取組み

2 会員に関する取組み

2-1 ホームページの充実

2-2 会員増に向けての取組み

2-3 機関誌「栄養新潟」の作成

2-4 顕彰審査に関する体制整備

3 その他必要な取組み

新潟県栄養士会 80 周年記念事業について

公益社団法人新潟県栄養士会 80 周年記念事業（案）2024.09.02

要 旨

公益社団法人新潟県栄養士会は、2025 年度設立（創立）80 周年を迎えます。そこで、先輩方の努力、今私たちのがんばり、将来への期待を込めて記念事業を実施します。

現在は周囲の方々との連携・協力により過去からは予想もできない仕事の幅を広げることができ、様々な職域でやりがいのある仕事が可能となっています。これを当たり前と考えずさらに前進していくため、多職種の皆様との協力・連携、県民の皆様からの更なる必要性の認識と絆の深まりをテーマとして 80 周年記念事業を実施します。

少子超高齢時代に入り、私たち管理栄養士・栄養士の必要性は高まっています。県民の皆様が一生に「食」とどのような関わりを持つことができるかは管理栄養士・栄養士との関わりと胸を張って言えるか、また管理栄養士・栄養士の視点だけではなく、他職種の皆様の声に耳を傾け、連動し合うことがより有効な時代であると考え、実践できるよう歩を進めたいと考えます。

1. 実施日 2025 年 6 月 14 日（土曜日）、定時総会終了後
2. 会 場 ユニゾンプラザ多目的ホール、1 階フロア、調理実習室
3. 実施方法 記念式典、特別講演、記念講演、展示・体験ブース出展 等
4. 予 算 150 万円以内
5. 実行委員 委員長 斎藤トシ子 副委員長 村山稔子、高橋洋平
委員 長谷川成子（医療） 石井なるみ（福祉） 高橋佳子（公衆衛生）
五十嵐利恵（地域活動）高野則子（学校）
奈良橋深雪（勤労者支援）塩沢浩太（研究）
山田祥子（専務理事）阿部幸子（事務局長） 計 12 名
6. スケジュール 今後 1 カ月に 1 回程度で実行委員会を開催し、詳細について検討する。
*次回会議までにイベントについて案があれば、事前に提案していただく

賛助会員入会申請について

会社名 : 尾家産業株式会社
所在地 : 本社 大阪市北区豊崎 6-11-27
創業 : 1947年10月16日
会社設立: 1961年2月16日
資本金 : 13億570万円

経営理念

私達は自己の能力を啓発し奉仕と感謝の心をもって取引先にとってなくてはならない存在となり社員の幸福と企業の安定成長をはかり社会と食文化の発展に貢献する

事業内容

総合食品商社 ・ 業務用食品卸売業
・ 食品小売業

お客様のご意見を反映させた、OIE独自の5つのプライベートブランド。

『サンホーム』

冷凍食品をはじめ、調理済品、半調理品、乾物、缶詰など充実した品ぞろえです。



『燦宝夢』

和食と中華を中心とした付加価値の高い高級ブランド。



『サンブラザ』

コストパフォーマンスが高く利便性を追求したお値打ちの おすすめ業務用食品ブランド。



『おいしい海』

新鮮素材と確かな加工技術が生み出した水産加工品中心の新鮮海産ブランド。



『サンオイエ』

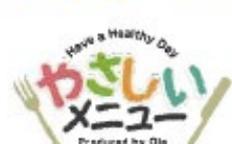
ラップやポリ袋、洗剤など食品以外もお任せください。環境に配慮した商品も開発し、キッチンまわりのお手伝いもいたします。



お客様目線で時代のニーズに応える、OIEのこだわりが詰まった商品も豊富。

『やさしいメニューロゴ入り商品』

カルシウム、食物繊維、鉄分、亜鉛、カリウム、ビタミンなどの栄養素を付加するなど、生活習慣病予防として配慮をした商品です。



『ノンフーズ』

P B 商品や N B 商品、専門的な調理器具・厨房機器など、食品だけでなくお値打ちで定番の洗剤から、使い勝手に優れた資材・消耗品まで多彩なラインナップをご用意しております。



2024年度上半期の活動計画および進捗状況_各業務執行部

○学術部

事業部・委員会活動スケジュール表（案）（2024-2025年度）												
学術部		事業部、委員会名（ドロップダウンリストから選択）										
メンバー名：北林、治田、竹内、金子、高橋												
活動計画（簡潔に記載）	主担当 Oreader	2024年度										
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
常任理事会（J）・理事会（R）					(J) 10/9 (R) 10/19					(J) 2/26	(R) 3/8	
(J)への資料提出〆切					10/1					2/18		
1-1	栄養の学術の進歩に資する活動の検討 -新潟県栄養士会倫理委員会規定の改定-	○北林、治田、竹内、金子、高橋	活動方針の検討（web会議）			J、Rにて新潟県栄養士会倫理審査委員会規定の改定について説明、承認を得る	改定について担当項目の割り振り（web会議）	各自改定案の作成	進捗の確認（web会議）	Jへ改定案を提出	Rへ改定案を提出	J、Rでの審査をもとに修正 総会にて承認を得る
1-2	栄養の学術の進歩に資する活動の検討 -新潟県栄養士大会と連携した研究活動の促進-	○治田、竹内、金子、北林、高橋	学術部と研修部で栄養士大会の活用について意見交換を行う（web会議）	大会を活用した学術の進歩に資する活動計画（案）をまとめる	J、Rにて検討した内容を説明・報告し、今後の活動方針の承認を得る	計画に沿った準備を行う	新潟県栄養士大会にて活動を実行する	栄養士大会での活動について振り返りと評価、次年度の活動計画について検討（web会議）	Jにて活動内容について報告。次年度の活動案について報告	Rにて活動内容について報告。次年度の活動案について報告		
2	各支部・各事業部・各委員会・事務局へのデータ解析・調査等の支援	○治田、竹内、金子、北林、高橋	各支部・事業部・委員会・事務局からデータの解析依頼、調査の相談等のニーズを調査する（メール連絡）	集まったニーズについて学術部委員による検討会を開催（web会議）	J、Rにて集まったニーズと対応について説明し、今後の活動について承認を得る	ニーズに合わせた活動	ニーズに合わせた活動	進捗の確認（web会議）	Jにて進捗状況を報告	Rにて進捗状況を報告		
3	各種顕彰・表彰者増加を目的としたシステムの検討	○北林、治田、竹内、金子、（委員：山田、稲村、入山、折居）	顕彰表彰の情報をまとめる（メール連絡）。各種顕彰表彰検討委員会委員を含めた検討会を行う（web会議）		J、Rにて検討した案について説明し、活動の方向性について了承を得る	担当の割り振り（web会議）	進捗の確認（メール連絡）	進捗の確認（web会議）	Jにて進捗状況を報告	Rにて進捗状況を報告		総会にて新潟県栄養士会の顕彰表彰者増加を目指したシステムについて報告を行う

日時	2024年7月29日 18:30~19:00
会議名	2024年度 第1回 学術事業部 会議
開催場所	オンライン会議 (Zoom)
出席者氏名	北林紘、治田麻理子、金子幸子、竹内瑞希
協議内容	<p>2024年度学術事業部の活動計画について検討した (添付資料)。 下記に協議内容を記す。</p> <p>1. 栄養の学術の進歩に資する活動の検討</p> <p>1) 新潟県栄養士会倫理審査規定の改定</p> <p>これまで、新潟県栄養士会生涯学習にて、統計解析やデータのまとめ方に関する講義は実施されており、学会発表を行える会員は多く存在する。しかし、論文執筆には繋がられていない現状にあり、適正な手続きを踏まずに行った調査・研究であることが、論文化を困難にしている一因と考えられた。そのため、研究を実施する上で、最初の部分である「研究計画、倫理審査」の教育に注力し、新潟県栄養士会倫理規定についても標準的な規定に適合するよう改定することを常任理事会および理事会にて諮ることとした。</p> <p>学術部の活動としては、2024年度は新潟県栄養士会倫理審査委員会既定の改定を行い、2025年度は新潟県栄養士会倫理審査委員会の運用規定の作成や会員への研究計画・倫理審査に関する教育を行うことが計画された。今後、倫理審査について、各部会員が所属する病院や大学等の様式や申請方法等について調べ共有することとなった。</p> <p>2) 新潟県栄養士大会と連携した研究活動の促進</p> <p>研究発表の推進と論文を執筆できる人材を育成するために、研修部が計画している新潟県栄養士大会 (仮称) と連携し、研究活動に関するプログラム (一般演題 (実践活動・研究) や論文執筆者の体験談、研究に関する講義など) を組み込むことが提案された。また、一般演題で優秀演題賞を設け、座長より論文化の推薦を受けた演題は、論文投稿を検討していただけるように依頼する。上記案について、研修部に確認をとり、協議を進めていくこととなった。</p> <p>2.各支部・各事業部・各委員会・事務局へのデータ解析・調査等の支援</p> <p>現時点で把握している論文化できそうな調査データとしては「在宅栄養ケア活動」や「在宅訪問栄養指導相談事業」が挙げられる。その他にも、各支部長を通して、現場でどのような未着手のデータがあるのか、確認の依頼をすることが計画された。また、現場のデータを新潟県立大学や新潟医療福祉大学と連携し、学生に解析用データセット作成や研究解析の一部を経験してもらうことで、在学中から栄養士会を認知してもらい、卒後に栄養士会に入会しやすい流れを作ることも提案された。</p> <p>3. 各種顕彰・表彰者増加を目的としたシステムの検討</p> <p>顕彰や全国規模の表彰の推薦はハードルが高いため、まずは新潟県栄養士会長賞を設立し、支部会の活動に尽力してもらっている会員や職域で先進的な取り組みを行っている会員など、支部長、職域事業部部長、一般会員から広く募集する。この賞を通じて、新潟県栄養士会会員の活動を把握しておき、全国規模の顕彰に値する実績が蓄積した際に、各種顕彰・表彰者として推薦するような流れが検討された。</p> <p>上記案について、8月2日に予定されている顕彰・表彰検討委員会にて委員に提案し、協議される予定である。</p>

○事業部

事業部		事業部、委員会名（ドロップダウンリストから選択）											
メンバー名：小林（医療）、土田（公衆）、鶴川（魚沼）、村山（十日町）、内山（上越）、統括：高橋、渡辺（勤労者支援）													
活動計画（簡潔に記載）	主担当 Oreader	2024年度											
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
常任理事会（J）・理事会（R）					(J) 10/9 (R) 10/19					(J) 2/26	(R) 3/8		
(J)への資料提出〆切					10/1					2/18			
1 災害支援活動に関する事業	全員		マニュアルの見直し ※今年度中の作成を目指す	常任理事会に向けて資料の修正	(J)へ資料作成提出→理事会審議・決定								年内 調整完了
2 支部・職域より提出された次年度の公益事業の検討と評価	全員					事業計画予算書の提出 〆切 12月上旬	第1回予算検討委員会	第2回予算検討委員会(再検討のみ)					

日時	2024年8月12日 10:00~12:15
会議名	第1回 事業執行部 事業部打ち合わせ
開催場所	長岡市公民館
出席者氏名	高橋洋平、小林昌子、土田直美、鶴川一寛、村山千晶、内山智子、渡辺絵里子
協議内容	<p>昨年までに作成した『公益社団法人 新潟県栄養士会災害時支援計画』を基に、『日本栄養士会 災害時の栄養・食生活支援ガイド』基準に倣いつつ、新潟県栄養士会独自の災害時対応概要表、組織図、フローの内容確認と作成を行った。</p> <p>災害時対応概要表) ※添付資料『0814 マニュアル対応表(骨子)』参照 フェイズにもある、平常時の対策に繋がる新潟県栄養士会の対応について、すぐにでも着手する必要があると話があがった。</p> <p>組織図) 長野県栄養士会の『長野県災害対策本部組織図』表を基に、新潟県版を書き換え作成予定。</p> <p>報告書) 日栄の災害時の食生活支援ガイド 93 ページに「活動記録表」があるが、県栄は時系列の記載は必要ないと判断し、長野県の「支援活動記録表」を参照し新潟県版に修正し作成予定</p>

マニュアル対応表（案）

区分	平常時の対策	フェイズ0 (概ね災害発生後 24 時間以内) 初動体制の確立	フェイズ1 (概ね災害発生後 72 時間以内) 緊急対策	フェイズ2 (概ね 4 日目から 1 か月まで) 応急対策	フェイズ3 (概ね 1 か月以降) 復旧・復興対策
想定される状況	<ul style="list-style-type: none"> ◇：ハードに関すること ○：ソフト面に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ライフラインの寸断・電話不通 ◇情報収集困難、情報の途絶（停電等） ◇登庁者の限定 ◇道路の遮断 ◇避難所の開設 等 ○野外等への避難者増大 ○避難所の衛生状態の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ◇被災者の増加等に伴う混乱 ◇トイレの不足 ○負傷者等の増加 ○食料の絶対的不足 ○要配慮者用食品（乳児用ミルク、離乳食、高齢者用食等）の不足 ○おむつ・生理用品の不足 ○衛生管理不徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ◇仮設住宅の建設、入居の可否の決定 生鮮食品の不足 ○救援物資の不足及び過剰 ○塩分摂取量の増加 ○水分摂取制限の恐れ ○便秘者の増加 ○慢性疲労、体調不良者の増加 ○調理意欲の減退 	<ul style="list-style-type: none"> ◇仮設住宅への入居 ◇調理設備の不足 ○生鮮食品の不足 ○救援物資の過剰及び不足 ○慢性疾患の悪化の恐れ ○調理意欲の減退 ○災害後の将来への生活不安
市町村	<p>◎災害時における栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく状況把握と体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災計画における適正な食料供給体制の整備 ● 適正な食料等の備蓄（市町村） ● 避難所における炊き出しの体制整備 ● 一般家庭における食料等備蓄の促進 ● 要配慮者の把握 ● 感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者数 ・ライフラインの被害状況 ・食料・水供給源の被害状況 ● 栄養・食生活支援の要請 ● 備蓄食品の活用 ● 炊き出しの計画 ● 感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者数 ・ライフラインの被害状況 ・食料・水供給源の被害状況 ● 被災者の栄養管理の検討 <ol style="list-style-type: none"> 1 普通の食事ができない人への対応 2 避難所における巡回栄養相談の計画 ● 栄養・食生活支援の要請 ● 備蓄食品の活用 ● 炊き出しの実施と配分計画 ● 感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者数（避難所、自宅滞在者） ・ライフラインの復旧状況 ・食料・水供給源の被害状況 ● 被災者の栄養管理の実施支援 <ol style="list-style-type: none"> 1 普通の食事ができない人への対応 2 避難所における巡回栄養相談の計画 ● 炊き出しの実施と栄養管理 ● 被災者の栄養・食生活支援 <ol style="list-style-type: none"> 1 避難所における世帯への食生活支援 2 一般被災世帯への食生活支援 ● 感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅世帯数 ・地域の食料供給源 ・被災世帯の状況 ● 仮設住宅入居者への食生活支援 <ol style="list-style-type: none"> 1 食環境の変化に対応するための支援 2 訪問栄養指導の実施 3 運動・食生活相談の実施 ● 被災地域全体への食生活支援 <ol style="list-style-type: none"> 1 地区健康教育の実施 2 災害時の食生活のまとめ活用 ● 被災地域における栄養・食生活支援活動の検証

	区分	平常時の対策	フェイズ0 (概ね災害発生後 24 時間以内) 初動体制の確立	フェイズ1 (概ね災害発生後 72 時間以内) 緊急対策	フェイズ2 (概ね 4 日目から 1 か月まで) 応急対策	フェイズ3 (概ね 1 か月以降) 復旧・復興対策
県	地域機関	<p>◎災害時における栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく状況把握と体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域機関内の体制整備 <ol style="list-style-type: none"> 1 災害時の栄養指導対策と食料供給体制の把握と情報収集 2 災害時の所内体制の整備 ● 市町村への普及 <ol style="list-style-type: none"> 1 防災計画における適正な食料供給体制の整備 2 適正な食料の備蓄の指導 3 炊き出しの体制整備への支援 4 一般家庭における食料備蓄等の指導 ● 地域内の支援体制の整備 ● 感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者数 ・ライフラインの被害状況 ・食料・水供給源の被害状況 ● 栄養・食生活支援に関する人的支援要請計画 ● 炊き出しの計画策定支援 ● 感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者数 ・ライフラインの被害状況 ・食料・水供給源の被害状況 ・要配慮者等 ● 被災者の栄養管理の検討支援 <ol style="list-style-type: none"> 1 普通の食事ができない人への対応 2 避難所における巡回栄養相談の計画 ● 栄養・食生活支援に関する人的支援要請 ● 炊き出しの栄養管理指導 ● 感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者数（避難所、自宅滞在者） ・ライフラインの復旧状況 ・食料・水供給源の被害状況 ・被災者の健康状態 ● 被災者の栄養管理の実施支援 <ol style="list-style-type: none"> 1 普通の食事ができない人への対応 2 避難所における巡回栄養相談の計画 ● 栄養・食生活支援に関する人的支援要請 ● 炊き出しの実施と栄養管理 ● 被災者の食生活支援活動に向けた支援 <ol style="list-style-type: none"> 1 避難所における世帯への食生活支援 2 一般被災世帯への食生活支援 ● 感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅世帯数 ・地域の食料供給源 ・被災世帯の状況 ・被災者の健康状態 ● 仮設住宅入居者への食生活支援 <ol style="list-style-type: none"> 1 食環境の変化に対応するための支援 2 訪問栄養指導の実施 3 運動・食生活相談の実施 ● 被災地域全体への食生活支援 <ol style="list-style-type: none"> 1 地区健康教育の実施 ● 災害時食生活実態調査の実施 ● 被災地域における栄養・食生活支援活動の検証

区 分	平常時の対策	フェイズ0 (概ね災害発生後 24 時間 以内) 初動体制の確立	フェイズ1 (概ね災害発生後 72 時 間以内) 緊急対策	フェイズ2 (概ね 4 日目から 1 か月 まで) 応急対策	フェイズ3 (概ね 1 か月以降) 復旧・復興対策
本 庁	<p>◎災害時における栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく状況把握と体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災計画における適正な食料供給体制の整備 ● 適正な食料等の備蓄 ● 人材育成 ● 受援・派遣体制 ● 感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者数 ・ライフラインの被害状況 ・食料・水供給源の被害状況 ● 栄養・食生活支援に関する人的支援体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者数 ・ライフラインの被害状況 ・食料・水供給源の被害状況 ・要配慮者等 ● 被災者の栄養管理の検討支援 ● 栄養・食生活支援に関する人的支援計画 ● 地域への支援活動 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者数（避難所、自宅滞在者） ・ライフラインの復旧状況 ・食料・水供給源の被害状況 ・被災者の健康状態 ● 被災者の栄養管理の実施支援 ● 栄養・食生活支援に関する人的支援計画 ● 被災者の食生活支援活動に向けた支援 ● 被災者の栄養・食生活支援のための施策化・予算措置 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅世帯数、被災世帯の状況 ・地域の食料供給源 ・被災者の健康状態 ・関係機関の対応状況 ● 被災者の栄養・食生活支援のための施策化・予算措置 ● 災害時の対応に関する研修会及び会議の開催 ● 災害時活動に関する研修会、会議等 ● 被災地域における栄養・食生活支援の検証内容に関する各種計画・ガイドライン等への反映

区 分	平常時の対策	フェイズ0 (概ね災害発生後 24 時間以内) 初動体制の確立	フェイズ1 (概ね災害発生後 72 時間以内) 緊急対策	フェイズ2 (概ね 4 日目から 1 か月まで) 応急対策	フェイズ3 (概ね 1 か月以降) 復旧・復興対策
<p>(公社) 新潟県栄養士会</p>	<p>◎災害時における栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく状況把握と体制整備</p> <p>●県栄養士会災害活動マニュアルの活用と検証 ・マニュアルを活用した訓練 ・マニュアルの見直し</p> <p>●特殊栄養食品ステーション設置候補地の検討</p> <p>●適正な食料等の備蓄 ・特殊栄養食品の選定・確保 ・薬局等での取り扱い食品のリストアップ ・薬局や中間業者との話し合い ・取り扱い商品の把握 ・(必要に応じて)企業との協定に関する検討</p> <p>●人材育成 ・JDA-DAT スタッフ研修の企画・実施 ・JDA-DAT リーダースキルアップ研修の企画・実施 ・(リーダー・スタッフの活動の場として)自治体総合防災訓練での出展・普及活動</p> <p>●災害時炊き出し用献立の作成(依頼にもとづき)</p> <p>●食の面からの防災教育 ・地域や学校での災害食の講座の実施 ・災害食レシピの開発・情報発信</p> <p>●受援・派遣体制 ・災害拠点区域の設定</p>	<p>●状況把握 ・被災者数 ・ライフラインの被害状況 ・食料・水供給源の被害状況</p> <p>・会員の安否 ・会員の所属する被災地域の給食施設の被災状況</p> <p>●本部立ち上げの可否検討・設置</p> <p>●栄養・食生活支援に関する人的支援体制の整備</p> <p>●感染症対策の推進</p>	<p>●状況把握 ・被災者数 ・ライフラインの被害状況 ・食料・水供給源の被害状況</p> <p>・要配慮者等 ・地域の食料・物資の過不足の確認</p> <p>●特殊栄養食品ステーションの設置</p> <p>●被災者の栄養管理の検討支援 ・栄養アセスメントの実施</p> <p>●栄養・食生活支援の要請に基づく活動</p> <p>●備蓄食料の活用</p> <p>●炊き出しの栄養管理指導</p> <p>●感染症対策の推進</p>	<p>●状況把握 ・被災者数(避難所、自宅滞在者) ・ライフラインの復旧状況 ・食料・水供給源の被害状況</p> <p>・被災者の健康状態</p> <p>●被災者の栄養管理の実施支援 ・療養者ごとの災害食の献立作成 ・栄養障害の有無についての対応と検討</p> <p>●炊き出しの栄養管理指導</p> <p>●被災者の栄養・食生活支援</p>	<p>●状況把握 ・仮設住宅世帯数、被災世帯の状況 ・地域の食料供給源 ・被災者の健康状態</p> <p>●仮設住宅入居者への食生活支援 ・食環境の変化に対応するための支援 ・訪問栄養指導の実施 ・運動・食生活相談の実施</p> <p>●被災地域全体への食生活支援 ・地区健康教育の実施 ・災害時の食生活のまとめ活用</p> <p>●災害時の対応に関する研修会及び会議の開催</p> <p>●被災地域における栄養・食生活支援の検証内容に関する活動マニュアルへの反映</p>

組織図（案）

(別添1) 新潟県栄養士会 災害対策本部 組織図(案)				
本部				
災害対策 本部長 : 会長		氏名 TEL		
副本部長 : 副会長		氏名 TEL		
事務局 : 専務理事		氏名 TEL		
事務局 : 事務局長		氏名 TEL		
現地統括 : 支部長		氏名 TEL		
現地統括補佐 : 副支部長		氏名 TEL		
補佐 : JDA-DAT地区リーダー		氏名 TEL		
【役割】被災地の現地対策・調整。他県からの支援JDA-DAT等との調整				
クロナロ・記録班	情報・連絡・ニーズ把握班	ロジスティックス班	人材派遣調整班	特殊栄養食品ステーション班
【役割】	【役割】	【役割】	【役割】	【役割】
時系列記録 等 (クロナロ・PC)	関係機関との連絡調整 及び医療ニーズ等の把握	支援者のサポート業務 (物資の調達、宿泊先の確保、環境整備、車両・書類作成等)、搬送・車両管理等	JDA-DATリーダー・スタッフ、一般会員等の調整	物資調達、整理、保管管理、搬送等
氏名・TEL	氏名・TEL	氏名・TEL	氏名・TEL	氏名・TEL
支部				
現地統括 : 支部長		氏名 TEL		
現地統括補佐 : 副支部長		氏名 TEL		
補佐 : JDA-DAT地区リーダー		氏名 TEL		
【役割】被災地の現地対策・調整。他県からの支援JDA-DAT等との調整				
JDA-DAT新潟県リーダー登録者		JDA-DAT新潟県スタッフ登録者		災害時支援活動協力会員
氏名・TEL		氏名・TEL		氏名・TEL
栄養食生活支援チーム (4人程度1チーム)		氏名 TEL		

報告書（案）

公益社団法人 新潟県栄養士会	
災害時栄養・食生活支援活動報告書	
報告日： 年 月 日	
報告者名： _____	
項目	内容
支援実施月日 及び時間	実施日： 年 月 日 () 時間： : ~ :
支援実施者 氏名	
支援場所 (避難所名等)	
支援内容	
支援実施 人数	母子： 人 アレルギー： 人 高齢者： 人 その他疾病： 人 生活習慣病： 人 その他： 人

○広報・情報部

広報・情報部		事業部、委員会名（ドロップダウンリストから選択）										
メンバー名：山川琴栄(部長)、丸山朝美(副部長)、内田悠香、山岸美恵子、伊藤涼子 ※村山稔子(統括)												
活動計画（簡潔に記載）	主担当 Oreader	2024年度										
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
常任理事会（J）・理事会（R）					(J) 10/9 (R) 10/19					(J) 2/26	(R) 3/8	
(J)への資料提出〆切					10/1					2/18		
1-① 新潟県栄養士会HP「活動紹介」の更新	○伊藤、全メンバー HP委員会は+HP委員		下旬 第1回HP委員会 WEB(HP委員作業について説明、引き継ぎ状況と進捗状況の確認)	広報・情報部検討会 ※現状報告書作成 27日提出予定	(J)へ1.2について現状報告				・HP「活動紹介」全支部・職域事業部が更新済か確認 ・第2回HP委員会WEB 進捗状況確認			2025年度計画書作成
1-② 現新潟県栄養士会HP全体の見直し ※現HPの大規模リニューアルは多くても年1回だけ総会頃に更新	○伊藤、全メンバー HP委員会は+HP委員		下旬 第1回HP委員会 現HPの説明 第2回に意見もらおうとアナウンス					第2回HP委員会 現HP見直しについて意見集約	(HPリニューアル案が固まり 事務局と調整 対応可能であればJへ案提出か? 可能であれば6月HPリニューアルを目指す、まずは使えない、古い情報の整理)	(HPの修正作業:事務局)	(HPの修正作業:事務局)	(HPの修正作業:事務局)
2 栄養新潟の作成冊子化とデジタル化	○山川、全メンバー	理事会 25年版57号の構成・内容の検討(案:栄養士大会について、新三役紹介)・デジタル化の検討	・事務局と打合せーHPへの掲載について ・印刷業者問い合わせー予算がかかるか等	広報・情報部検討会 掲載テーマや内容案決定(読者アンケート必要か等も検討)	(J)へ内容・構成案提出→理事会審議・決定→寄稿依頼者へ内諾をもらう	依頼文 12月初旬までに(事務局から)		寄稿〆切下旬 校正1(広報・情報部ダブルチェック)→業者	業者→校正2(部長)→完成(案)		最終調整 完成	印刷

日時	2024年7月25日19:30~20:30
会議名	第1回広報・情報部 役員会
開催場所	Zoom
出席者氏名	村山稔子、山川琴栄、内田悠香、伊藤涼子、丸山朝美
協議内容	<p>19:35~</p> <p>■事業部についての説明</p> <p>19:40~</p> <p>■ホームページについて 主担当：伊藤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年後リニューアルを目指す。 ・現ホームページを年に1回程度更新するための広報・情報部全員で見直し作業 ・協力し行っていく。 <p>【活動内容について】</p> <p>①活動紹介 活動の更新、予定・役員名簿の掲載 事業後にHP委員がアップする。</p> <p>②内容整理 前年度は活動紹介のみに留まっていたため、内容等を見直したい。 不要な部分を整理する。</p> <p>【HP委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（8月）活動説明、引継ぎ状況の確認。 ・第2回（1月）更新状況の確認。不要な部分の削除などの検討などHPについて気付いたことを挙げてもらう。 <p>■栄養新潟の作成について 主担当：山川</p> <p>2024年5月20日発刊、冊子（ペーパー）で送付</p> <p>2025年5月20日発刊予定。冊子とデジタル化の併用型（PDF形式）を目指す。 業者と相談し、次年度予算になるため、デジタル化アップの時期は事務局と要相談。</p> <p>9月に広報・情報部で内容を検討し、10月の常任理事会にて提案する。</p> <p>1月下旬 寄稿締切</p> <p>【掲載内容（案）について】</p> <p>1P 新会長ご挨拶</p> <p>2P以降 ・特集 栄養士大会（12月）について ・役員紹介 新三役から抱負や自己紹介など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県栄養士会を紹介する形にしたい。 ・栄養新潟に二次元コードを記載し、感想を集約できるようにするか今後検討。 ・2024年に做って行っていく。

日時	2024年8月27日 19:00~20:30
会議名	2024年度 第1回ホームページ委員会
開催場所	ZOOM
出席者氏名	佐藤恵子(新発田) 春川佳代子(新潟市) 計良美希(佐渡) 武田華澄(三条) 津軽智子(長岡) 名地愛美(柏崎) 大平剛輝(魚沼) 近藤恵理香(十日町) 西山典子(上越) 渡邊朋子(学校健康教育) 新津百子(医療) 渡辺絵里子(勤労者支援) 荒川花織(福祉) 山田祥子(専務理事) 村山稔子(広報・情報部 統括) 山川琴栄(広報・情報部 部長) 丸山朝美(広報・情報部) 内田悠香(広報・情報部) 伊藤涼子(広報・情報部)
協議内容	<p>1. 自己紹介 2. ホームページ (HP) 委員 任期 2年1期</p> <p>3. HP 委員の役割について: 資料に沿って説明 指南書概要版に沿って説明 (山川広報・情報部部長)</p> <p><u>I.新潟県栄養士会(県栄) HP「活動紹介」の更新</u></p> <p>①役員名簿作成(各支部役員で開示するかどうか確認後行う)</p> <p>②年間計画</p> <p>③実施報告書(活動後の様子 HP へあげる)</p> <p><u>II.県栄 HP 全体の見直し…使用できない情報の整理</u> (ホームページレイアウト参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年1月に第2回 HP 委員会を開催予定。沢山の方から意見を頂きたい。 ・5年後目処に HP は大リニューアルの予定 参考資料として 2023年度 HP 委員会を議事録で送信予定 <p><u>III. 県栄 HP を見てもらえるよう宣伝</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP トップのお知らせは定期的に確認してもらいたい。 ・載せてもらいたい情報などあれば県栄に連絡を。 ・HP 委員を中心に、県栄 HP をよりよいものになるようにしていきたい。 <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指南書については支部によって様々。参考資料をメールにて送付予定。 <p>4.意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡支部 津軽委員 (HP 委員 10年以上経験) より、現 HP について補足説明があった。 ・役員名簿は強制ではないが、掲載の方向にした方がよいのではないか。 ・大リニューアルについての意見。 ・山川部長より、会員専用ページを充実させたいと発言があった。 ・多くの委員から、旧 HP に聞きながら活動を進めたいという意見が多かった 一方、初めて県栄役員になった委員からは、活動に不安を感じている意見もあった。 ・村山統括より、HP を通して栄養士会活動を PR することで仕事がしやすくなるのではないかと助言があった。 <p>5.連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> * まずは「2024年度活動計画」を掲載する作業に取りかかること。 * 今後の諸連絡は直接 HP 委員へメール連絡をする。 * 第2回 HP 委員会は2025年1月開催予定(この時点で事業はほぼ実施済か) * 8/28 参考資料を各委員へ送信(指南書見本2点、事業担当者への原稿依頼文) * この議事録を各委員へ送信する際、参考資料として「議事録2023年第2回 HP 委員会」を同時送信。

※24年56号同様 総会資料と合併号として2025年5月頃発刊の予定

内容			執筆者・担当
表紙			毎年支部輪番制
目次			
1.会長あいさつ		A4 1P	斎藤会長
2.総会資料			
3特集 県栄養士大会について	・全体 企画・運営・実施して ・分科会 ・参加者感想 ※当日写真掲載 写真撮り許可と各ブース写真撮り担当者配置	全体で A4 3P	詳細は 今後、研修部・事務局と検討
4.トピックス 県栄 新三役紹介	・三役紹介 抱負や自己紹介 ※個人写真又は執筆者のお気に入りのものの写真を掲載(イメージ 日本栄養士会雑誌「トップランナーたちの視点」) ※県栄組織図掲載してはどうか	全体で A4 1P (1/3P ずつ)	・副会長 ・専務理事
5.業務執行部 活動報告と今後の予定・展望	学術部、事業部、広報・情報部、研修部、栄養ケア・ステーション部	全体で A4 3P (1/2P ずつ、栄養CS部は1P)	各業務執行部 部長
6.支部だより (ケア担当含む)	・支部・支部長紹介 抱負や自己紹介 ・地域ケア担当 説明と紹介 ※支部長の写真又は執筆者のお気に入りのものの写真を掲載 ※活動紹介はHPへ誘導QRコード掲載	全体で A4 4P (1/3P ずつ ※56号までは1/2P ずつ)	・10支部長 ・ケア担当：専務理事
7.職域事業部だより	・新支部長紹介 抱負や自己紹介 ※支部長の写真又は執筆者のお気に入りのものの写真を掲載 ※活動紹介はHPへ誘導QRコード掲載	全体で A4 3P (1/3P ずつ ※56号までは1/2P ずつ)	7職域事業部長 +事務局
8. 新人紹介		全体で A4 2P	4名程度
9.賛助会員 PR コーナー	賛助会員		
10. 本部だより			事務局
裏表紙	・事務局からのお知らせ ・あとがき ・読者アンケートフォーム QRコード掲載		事務局 広報・情報部

○研修部

研修部	事業部、委員会名（ドロップダウンリストから選択）												
メンバー名：	村山稔子 ◎斉藤幸子 ○堀川千嘉 佐々木佳子 中俣裕子 石墨清美江												
活動計画（簡潔に記載）	主担当 Oreader	2024年度											
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
常任理事会（J）・理事会（R）					(J) 10/9 (R) 10/19				(J) 2/26	(R) 3/8			
(J)への資料提出〆切					10/1				2/18				
1 栄養士大会	研修部メンバー	講師選出、依頼各自素案検討	8 / 3 担当者会議 (Web)	詳細決定、案内文作成	(J)へ計画調整案提出→理事会審議・決定→会員へ案内開始	担当者会議 (Web)	12 / 21 (土) 栄養士大会	活動内容まとめ	(J)への資料提出	(R)で、各事業活動結果の報告			
2 生涯教育	研修部メンバー				各職域事業部へ次年度案提出依頼一斉メール	全職域事業部長を含めて、25年度の日程調整 担当者会議 (Web)			(J)への資料提出	(R)で、各事業活動結果の報告			

日時	2024年7月20日 16:10~16:50
会議名	研修部 第1回役員会
開催場所	新潟ユニゾンプラザ内 女性交流センター
出席者氏名	村山稔子、堀川千嘉、佐々木佳子、中俣裕子、石墨清美江、斉藤幸子
協議内容	<p>今年度の活動計画案について検討した。</p> <p>1. <u>新潟県栄養士大会（仮称）について</u> 12月21日実施予定であることについて、9月までにおおよそ内容を決定する必要があるため8月に役員会を実施することになった。次回は、特別講演の案など持ち寄って候補を絞る予定。</p> <p>2. <u>次年度生涯教育の計画について</u> 村山前研修部長から今年度の実施内容決定までの手順について説明があった。</p> <p>次回8月3日（土）13時30分から Zoom</p>

日時	2024年8月3日 13:30~15:00
会議名	2024年新潟県栄養士大会実施について
開催場所	Zoom形式
出席者氏名	村山稔子、斎藤幸子、中俣裕子、堀川千嘉、石墨清美江
協議内容	<p>2024年12月21日（土）開催予定の2024年新潟県栄養士大会について、三役会にて作成していただいたたたき台を元に、開催内容、参加費、使用会場の振り分け、タイムスケジュール、大会テーマについて検討した。</p> <p>また、12月7日（土）医療、福祉事業部共催の研修会との合同開催を事務局へ問合せし、大会全体の内容について、今後再検討することとした。</p>

（9月）

臨時理事会書面会議にて「栄養士大会概要（案）」承認

- 1) 9月1週目 賛助会員へ案内
- 2) 9月下旬までに、各分科会担当事業部は実施内容を提出
- 3) 10月10日に会員に案内・申し込み受付開始

各ブース（2024年9月27日現在）

○公衆衛生事業部

報告Ⅰ 能登半島地震における新潟 JDA-DAT の活動について「1.5次避難所での活動」

報告Ⅱ 能登半島地震における新潟 JDA-DAT の活動について

「能登北部地域の避難所における栄養・食生活支援活動」

報告Ⅲ 県栄養士会での取組

「県栄災害支援活動マニュアル改定作業・JDA-DAT スタッフ研修について」

総合討論 「今後の県栄における平常時から進める災害時栄養・食生活支援活動」の展開について

○地域活動事業部・勤労者支援事業部

日栄リーダー研修会 勤労者支援・地域活動事業部の統合を考える(統合に向けての情報交換会)

○学術部

- ・座長あり（2名）、演者発表あり（8名：医療1、福祉1、学校1、公衆衛生1、研究2、地域1、勤労者支援1）
- ・2セッション同時進行
- ・発表時間 13:30-14:00 発表質疑込みで、一人7分30秒
- ・演者は発表後14:30までポスター前滞在（強制なし）

○医療・福祉事業部

テーマ：「医療・福祉の情報連携についての意見交換会

現状と今後の課題グループディスカッション」

内容：参加者には小グループに分かれて頂き、表記の内容について意見交換を行う。

ディスカッションのテーマは1～2を用意。

参加者へは事前に意見を持ち寄っていただくと流れがスムーズか。

ファシリテーターによる進行を予定

○準備金（消耗品・事例発表に関する謝礼含む）について

- ・各分科会：15,000円

2024 年新潟県栄養士大会実施概要

<日時> 2024 年 12 月 21 日(土) 9:45~16:00

<会場> 新潟ユニゾンプラザ 4 階 (〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所 2 丁目 2-2)
大研修室、大会議室、小研修室 2・3・4

<主催> 公益社団法人新潟県栄養士会

<テーマ> 「管理栄養士・栄養士の同職種連携を強化し県民の幸せに貢献しよう」

<趣旨> 新潟県栄養士大会は、県内の管理栄養士・栄養士が一堂に会し、同職種連携を強化し取り組むべき活動を協議するとともに、実効性のある実践活動を共有し、管理栄養士・栄養士の顔や活動内容が見える組織づくりと地域連携の推進を目的としています。

<主な内容>

【特別講演】佐藤晶子先生（新潟医療福祉大学健康スポーツ学科准教授 公認スポーツ栄養士）
テーマ：「アスリートの栄養管理の理論と実践」

【教育講演】荒木 厚先生（東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科フレイル予防センター長・健康長寿医療研修センター長）
テーマ：「フレイルと栄養、フレイルサポートのために栄養士に期待すること（仮）」

- 【分科会】① JDA-DAT 活動報告、スタッフ養成等（統括：公衆衛生事業部）
② 医療・福祉等との連携（統括：医療・福祉事業部）
③ 地域活動・勤労者支援との情報交換（統括：地域活動・勤労者支援事業部）
④ 新潟県および認定栄養ケア・ステーション事業：情報交換（栄養ケア・ステーション事業部）

【実践活動ポスターまたは PC での発表】（統括：学術部+研究教育事業部・学校健康教育事業部）
自施設や個々における日々の業務に関する実践活動の取り組み成果をポスターまたは PC 等で発表する

【情報提供】健康立県にいがた（新潟県福祉保健部健康づくり支援課） → ランチョンセミナー形式

【企業展示】賛助会員 10,000 円

<参加資格・定員> 管理栄養士・栄養士 200 名（学生定員 20 名を含む）

<参加費> （公社）新潟県栄養士会会員：事前・当日 2,000 円、
非会員：事前・当日 4,000 円（いずれも税込み）
養成校学生：無料

<昼食> 弁当：健康立県にいがた「からだがよろこぶデリ」ウオロク様（事前申し込み）：600 円

※参加費とお弁当代は事前振込

<事前申込開始と事前申込締切>

事前申込開始：2024 年 10 月 1 日（火）

事前申込締切：2024 年 11 月 10 日（水）（からだよろこぶデリ弁当が発注関連で早めの締切）

※事前申込締切前に定員に達した場合は締め切りとさせていただきます。

<生涯教育単位>

- 特別講演：0.5 単位
- 教育講演：0.5 単位
- JDA-DAT：0.5 単位

ユニゾンプラザ 4階



【今後の予定について】

- 1) 9月1週目 賛助会員へ案内
- 2) 9月下旬までに、各分科会担当事業部は実施内容を提出
- 3) 10月上旬に会員に案内、申し込み受付開始

当日のスケジュール

会場	収容人数	9:00	9:45	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
大研修室	132 コロナ対応	受付・レシビ展示準備	開会	10:00-11:00 特別講演 (統括:研修部)	11:15-12:15 教育講演 (統括:研修部)	賛助会員挨拶 (事務局)	12:45-13:15 県情報提供 (統括:研修部)	情報提供	14:00-14:45 JDA-DAT (統括: 公衆衛生事業部)	15:00-15:45 情報提供連携 (統括:医療・福祉事業部)	閉会
大会議室	88 コロナ対応			展示準備		賛助会員展示					
小研修室2	40						13:30-15:00 実践活動ポスターまたはPC等での発表 (統括:学術部)		15:00-15:45 情報交換等 (統括:勤労者支援,地域活動事業部)		
小研修室4	24	講師控室、講師昼食会場、スタッフ荷物置き場等									

チラシ (表)

管理栄養士・栄養士の同職種連携を強化し県民の幸せに貢献しよう

(公社)新潟県栄養士会 主催

新潟県栄養士大会 2024

開催日 2024年12月21日(土) 9:45~16:00

会場 新潟ユニゾンプラザ4階 大研修室、大会議室、小研修室2・3

要予約 申込期間: 2024年10月10日(木)~11月10日(水)
 会員: 2,000円 / 会員外: 4,000円 / 学生: 無料

【お振込み先】 第四北越銀行 本店営業部 (店番200) 普通預金 1256534
 ※ 入金をもって申し込み確定となります。

特別講演

アスリートの栄養管理の理論と実践

新潟医療福祉大学健康スポーツ学科准教授、公認スポーツ栄養士 佐藤福子先生

教育講演

フレイルと栄養、フレイルサポートのために栄養士に期待すること(仮)

東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科 フレイル予防センター長、健康長寿医療研修センター長 荒木 厚先生

分科会

① JDA-DAT活動報告、スタッフ養成等
 ② 医療・福祉等との連携
 ③ 地域活動・勤労者支援との情報交換
 ④ 認定栄養ケア・ステーション事業 情報交換

ポスター発表

自施設や個々における日々の業務に関する実践活動の取り組み成果をポスター又はPCで発表

詳細は裏面 >>>

ランチオンセミナーのご案内 お弁当 お茶付き 600円(税込)

ご希望の方へからだよろこぶア/弁当をご用意いたします。事前にお申込みいただき、参加費と一緒にご入金ください。

※ お弁当の引換時間は当日12:00-12:45です。
 ※ 当日の受付はしていません。
 ※ 入金後の返金はいたしません。

1/3日分塩麹野菜と味噌焼きチキンの発酵弁当

お申込み/お問合せ

GoogleフォームまたはFAX(裏面)にて受け付けております。お申込み後、ご入金をもって申し込み確定となります。

お問合せ▶(公社)新潟県栄養士会
025-224-5966 9:00~16:00 (月-木)

お申込みはこちら!



(裏)

当日のタイムスケジュール

	大研修室	大会議室	小研修室2	小研修室3
09:45	開会	-	-	-
10:00	10:00-11:00 【特別講演】	-	-	-
11:00	11:15-12:15 【教育講演】	-	-	-
12:00	12:15- 賛助会員様あいさつ	-	-	-
13:00	12:45-13:15 【情報提供】 ランチオンセミナー	【企業展示】 賛助会員様 展示	-	13:30-15:00 【実践活動発表】
14:00	14:00-14:45 【分科会】① JDA-DAT活動報告、 スタッフ養成等		14:00-14:45 【分科会】④ 認定栄養ケア・ステーション事業 情報交換等	ポスター又は PCで発表
15:00	15:00-15:45 【分科会】② 医療・福祉等との連携 情報交換連携等	-	15:00-15:45 【分科会】③ 地域活動・勤労者支援との 情報交換等	-

— 新潟県栄養士大会参加申込書 —

下記の申込欄に全てご記入の上、FAX (025-224-0510) でお申込みください。
 Googleフォーム(裏面)からも申し込み可能です

ふりがな		【A】参加区分
氏名		<input type="checkbox"/> 会員 ¥2,000
日中連絡のとれる連絡先	(自宅・携帯・勤務先)	<input type="checkbox"/> 非会員 ¥4,000
住所	〒	<input type="checkbox"/> 学生
		【B】お弁当申込み
		<input type="checkbox"/> 購入する ¥600
		<input type="checkbox"/> 購入しない

【お振込み先】
 第四北越銀行 本店営業部 (店番200)
 普通預金 1256534
 ※ 入金をもって申し込み確定となります。

お支払い金額 【A】 + 【B】

【A】 円 + 【B】 円

= 円

栄養士大会について、理事の皆様へのご連絡・お願い

【ご連絡】

1. 午後の各セッションの経費等について
 - 1) それぞれのセッションの経費は 15,000 円前後を予定しています。
15,000 円の内訳
 - ・ 消耗品
 - ・ 話題提供者・発表者：資料作成代（QUO カード 1,000 円分）
 - 2) 当日の運営スタッフの日当と旅費は、1)には含まれません。別途、ご請求ください
 - 3) 事前会議（Zoom）についても、日当を、別途、ご請求ください
2. 事前打ち合わせの開催
 - 必要に応じ、開催してください。
 - 会議日程の調整は、各セッション担当の代表者をお願いします。

【お願い】

- 1) 職域または支部会員・非会員への勧誘をお願いします。
勧誘目標数：各職域会員数の 1~2 割程度？
途中で申し込み状況をお知らせしますので、参加者が少ない職域、支部などにはお声がけさせていただきます。
- 2) 各職域事業部長よりポスター実践発表の発表者のご推薦をお願いします。
発表内容は学術的なものに限らず、実践活動や普段の業務に関するものなど、特に指定はありません。また、発表内容は過去に発表済みの内容や報告でも結構です。
- 3) 午後の各セッション代表者は、次ページの資料（A4-1 枚）を、11 月 11 日まで、
県栄、事務局に、メールにてご提出願います。
後で、フォーマットをお送りします。

各セッションの抄録については、午前中の特別講演及び教育講演の抄録も含め、「抄録集」としてまとめ、遅くとも 12 月 2 日には、県栄 HP に掲載したいと思います。

参加申込者には、PW つきで連絡し、事前確認ができよういたします。

「抄録集」は、開催当日も印刷物で配布する予定です。

運営職域・事業部名： 開催時間：○：○～○：○
テーマ
当日運営スタッフ（ 人）←最小限の人数でお願いします。 氏名（代表者◎）
抄録：300字～400字程度でまとめる 【目的】 本セッションの目的は、.....である。 【方法・内容】 方法：シンポジウム方式（座談会、講演、ワークショップ、ポスター発表方式等） 主な内容：.....。 【PRポイント】 例：○○に役立つ、最新情報がいっぱい！ 会員、非会員、学生を問わず、誰でも○○について楽しく学べる！ ○○についての実践情報が充実している！
必要な備品（マイク○本、スピーカー、机○個、椅子○脚等） ・ ・
必要な消耗品（養生テープ等） ・
会場レイアウト図（予定）

○栄養ケア・ステーション部 (3-1)

栄養ケアステーション部		事業部、委員会名（ドロップダウンリストから選択）										
メンバー名：												
活動計画（簡潔に記載）	主担当 Oreader	2024年度										
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
常任理事会（J）・理事会（R）					(J) 10/9 (R) 10/19					(J) 2/26	(R) 3/8	
(J)への資料提出が切					10/1					2/18		
1-① 1_①在宅医療栄養事業（県基金）	事業担当 久志田			2025年度事業計画（案）作成（県栄事業担当・事業検討会）→専務・二役	2025年度事業計画（案）作成（県庁担当者）	2026年度以降の基金事業検討（県栄事業担当・県栄三役）					3月下旬 2024年度事業報告・決算書提出	2025/4/1 2025年度事業計画及び予算書提出
1-② 1_②在宅訪問事業（広域委託）	事業担当 藤田			2025年度事業計画予算案作成						2024年度アンケート集計分析	2024年度決算書提出、2025年度見積書提出（3/31）	2024年度事業データ分析
1-③ 長岡CKD事業	高橋友美 実行委員全 員	7/12 相談会 4～6月分実施 報告	8/7 相談会 7月分実施報告 実行委員会	9/4, 9/25 相談会 8月分実施報告	10/16相談会 9月分実施報告 2023年分評価 報告	11/5, 11/18 相談会 10月 分実施報告	12/2,12/16相 談会 11月分 実施報告 実 行委員会	1/17, 1/31相 談会 12月分 実施報告	2/14,2/26相 談会 1月分実 施報告 事例 検討会	2月分実施報告 及び2024年実 施報告 評価 報告（事後 フォロー3か月 後のもの）	2025年度事業 長岡市との打 ち合わせ	実行委員会 チラシの作成

(栄養ケア・ステーション部 3-2)

活動計画（簡潔に記載）	主担当 Oreader	2024年度											
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
常任理事会（J）・理事会（R）					(J) 10/9 (R) 10/19					(J) 2/26	(R) 3/8		
(J)への資料提出バ切					10/1					2/18			
2-① 2地域ケア個別会議助言者 育成事業 (地域包括ケア支援専門 職協議会) ※新任者研修	事業担当 山田	・研修参加案 内配信（現任 者含む） ・事例作成	・（新任）研 修参加者集計 及び研修会開 催	・（新任）研 修アンケート 集計・課題抽 出									
2-① 2地域ケア個別会議助言者 育成事業 (地域包括ケア支援専門 職協議会) ※現任者_フォローアップ 研修		・新任者研修 参加案内配信	・研修案内配 信	・参加者集計 ・研修内容検 討会	・参加案内配 信	・参加者集計	・フォロー アップ研修開 催	・研修アン ケート集計・ 課題抽出					
2-① 2〃 (新潟県栄養士会CS) スキルアップ研修						・県主催_ス キルアップ研 修内容検討・ 資料作成	・研修案内配 信	・助言者スキ ルアップ研修 ・情報交換	・研修アン ケート集計・ 課題抽出 ・助成金処理				

(栄養ケア・ステーション部 3-3)

	活動計画（簡潔に記載）	主担当 Oreader	2024年度											
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
	常任理事会（J）・理事会（R）					(J) 10/9 (R) 10/19					(J) 2/26 (R) 3/8			
	(J)への資料提出バ切					10/1					2/18			
3-①	3_①県栄養CS事業マニキュアル作成A（人材登録・委託契約書・業務依頼書・業務料金表・業務報告書）	事業担当 久志田		8月末 マニキュアル素案作成（久志田→専務）	9月三役会議	10月1日常任委員会資料提出→理事会提出								
3-①	3_①県栄養CS事業マニキュアル作成B（報酬利用業務委託事業）	事業担当 久志田			9月末 マニキュアル素案作成（久志田→専務）	9月三役会議	他団体調整				マニュアル確定			
3-②	3_②地域栄養CS参加会議の情報整理及び業務周知	事業担当 山田専務・久志田		9月中旬 8月末現在2024年度事業報告書一覧作成 課題整理と対応検討	10/1常任委員会資料提出					1月中旬 12月末現在2024年度事業報告書一覧作成 課題整理と対応検討	2/18資料提供			
3-③	3_③認定栄養ケア・ステーションの報告会及び事業内容の周知	事業担当 山田専務・久志田		9/21認定CS活動報告会	10/1常任委員会資料提出 県栄HPcs活動報告会アップ	12月栄養士大会準備	12/21栄養士大会							
3-④	1_④地域ケア個別会議 コーディネイト	事業担当 加藤	新任助言者研修会受講案内送付	8/25新任助言者研修会		6職種合同フォローアップ研修会受講案内送付			・フォローアップ研修 ・県栄スキルアップ研修受講案内		・スキルアップ研修 ・支援専門職協議会より次年度の各市町村の会議予定	各市町村担当者へ会議出席者の日程調整依頼	会議出席者の日程調整（新潟市）	→

2024 年度上半期の活動計画および進捗状況_各種委員会

○災害対策委員会

日時	2024 年 8 月 20 日 18:00~19:15
会議名	第 1 回災害対策委員会
開催場所	Zoom
出席者氏名	事業部：渡辺絵里子、小林昌子 執行部：高橋洋平、山田祥子 JDA-DAT：清田優理香、土田直美、磯部澄枝、池田生美、津軽智子 事務局：阿部幸子
協議内容	<p>1、JDA-DAT スタッフ養成研修会 3 日目の内容と分担 開催日：11 月 9 日（土） 会場：スポーツ医科学センター 大研修室と調理実習室を予約。</p> <p>① 講義 1 新潟県の防災対策の基本_新潟県防災局 井上悠弥氏 ② 災害医療について_新潟大学災害医療教育センター 高橋 昌先生 ③ 演習 1 災害食の理解_実際に受講者にバッククッキングを作ってもらおう。 ・災害食の理解 講義 津軽智子 ・実習 バッククッキングの説明_担当 土田直美 アシスタント 磯部澄枝 他数名</p> <p>・内容は担当者に一任する。 ・演習の予算は 1000 円/1 人以内。</p> <p>④ 演習 2 新潟県栄養士会 JDA-DAT の活動の実際 ・事例報告 1：清田優理香（20 分） 1.5 次避難所での支援 池田生美（20 分） 避難所での聞き取り調査及び訪問調査 事務局（10 分） 発災から派遣までの経緯 グループ討議 担当 清田優理香</p> <p>⑤ 演習 3 災害対応カードゲーム_担当 磯部澄枝 ・5 グループ、ファシリテーター5 名 ・当日お手伝い頂く方を JDA-DAT リーダーに募る。</p> <p>2.2024 年度 JDA-DAT スタッフ 教育研修について 今年度は 12 月 21 日に行われる栄養士大会での JDA-DAT のブース内で行う。詳細は後日。</p> <p>3.2024 年度総合防災訓練について 10 月 20 日（日）南魚沼市にて新潟県・南魚沼市主催の総合防災訓練が行われる。栄養士会からは展示で参加する。 参加者：魚沼支部・・鶴川一寛支部長、青野睦枝 JDA-DAT リーダー・・土田直美・津軽智子・渡邊瞳 JDA-DAT スタッフ・・小幡郁子・宮沢毅 展示内容：・防災に関するパネル・リーフレット配布（土田準備） ・バッククッキングのデモンストレーション（津軽が準備、カセットコンロ・鍋も準備） ・栄養士のぼり・防災関連タペストリー・備蓄食品・サンプル・県栄パーカー（事務局準備 10/15 磯部来所、11/9 返却） ・JAD-DAT リーダーはジャンパー着用。</p> <p>4.その他 事業部より 8 月 12 日事業部の打合せ会議を行い、現在災害関連マニュアルを作成中であることが報告された。</p>

	日程	時間	区分	内容
3 日 目 (会 場 型)	11月09日(土) スポーツ医科学 センター	09:30~09:35	挨拶	
		09:35~10:05 (30分)	講義 1	新潟県の防災対策の基本 新潟県防災局 防災企画課 防災企画班 政策企画員 井上 悠弥 氏
		10:05~10:10		~準備・休憩~
		10:10~11:40 (90分)	講義 2	災害医療について 新潟大学災害医療教育センター 高橋 昌 先生
		11:40~12:30 (50分)	演習 1	災害食の理解
		12:30~13:00		~昼食・休憩~
		13:00~14:50 (110分)	演習 2	新潟県栄養士会 JDA-DAT の活動の実際
		14:50~15:00		~10分休憩~
		15:00~16:20 (80分)	演習 3	災害対応カードゲーム教材を活用した災害 ジレンマ体験
		16:20~16:45 (30分)		事務連絡 閉会の挨拶

○会員増対策委員会

会員増対策委員会		事業部、委員会名（ドロップダウンリストから選択）										
メンバー名：北林、渡辺、山川、斉藤（幸）、丸山、土田、堀川、小林、斎藤（ト）、村山、高橋、山田、阿部												
活動計画（簡潔に記載）	主担当 Oreader	2024年度										
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
常任理事会（J）・理事会（R）					(J) 10/9 (R) 10/19					(J) 2/26	(R) 3/8	
(J)への資料提出メロ切					10/1					2/18		
1 会員増対策案の策定	○北林、渡辺、山川、斉藤（幸）、丸山、土田、堀川、小林、斎藤（ト）、村山、高橋、山田、阿部		委員による検討会を開催し、今後の方向性に対応について検討を行う（web会議）		J、Rにて、第1回会員増対策委員会にて挙げた意見や方針を報告する 第2回委員会をweb会議にて開催する			第3回委員会をweb会議にて開催する		必要に応じて、第4回web会議を開催する		
ワーキンググループ1：栄養 2-1 士・管理栄養士資格者で未入会 の者に対する対策												
2-2 ワーキンググループ2：現入会 者の退会防止のための対策												

日時	2024年08月06日 19:00~20:55
会議名	第1回会員増対策委員会
開催場所	ZOOM
出席者氏名	北林 紘（学術部）、渡辺 絵里子（勤労者支援事業部）、 山川 琴栄（地域活動事業部）、斉藤 幸子（福祉事業部）、 丸山 朝美（学校健康教育事業部）、土田 直美（公衆衛生事業部）、 堀川 千嘉（研究・教育事業部）、小林 昌子（医療事業部） 齋藤 トシ子（会長）、村山 稔子（副会長）、高橋 洋平（副会長）、 山田 祥子（専務理事）、阿部 幸子（事務局長）
協議内容 （1）都道府県栄養士会会員変化について	<p>「2020～2023年の都道府県栄養士会会員変化率」資料を用いて新潟県の現状を把握した。</p> <p>今後の対策の参考に、各職域部長より状況が報告され、共有した。</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人職場環境の場合仲間意識が繋がり、相談する環境ができる。 ・より専門的なことが学べる <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費が高い（学校栄養士場合、協議会の会費もある。 ・ただでオンデマンドが受講できる時代 ・ライフステージ、転勤、離職、高齢化による退会 ・名簿がないので把握できない ・会費納入忘れ防止のシステムがあると良い。 ・部長・委員会の役割が見えると活動しやすい。 ・若い方は業務でわからない点はネットで調べる→間違った情報もある ・入会意識が低い（勤務が過酷、給料等） など <p>【対策】</p> <p>会社として入会金負担を提案するもメリットを問われる。 地域を超えて活動した際に声掛けしている</p> <p>○入会のメリット 齋藤会長より日栄に関わったことで得られた入会のメリットが伝えられた。</p> <p>間接的メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人だけでなく、全体の底上げ（社会的地位の向上） ・処遇改善、設置基準促進等要望を挙げるが、国は組織力＝人数及びその活動を見てくる ・自分たちの身を守るために ・退職者は若い方の育成のために必要 ・臨地実習で学生が入ったときに現場の先輩から声掛け等で組織力を高める必要がある。 <p>今後の進め方について下記の意見交換がされた。</p> <p>【テーマ】 ①新入会を増 ②退会者防止 ③再入会</p> <p>【課題】 魅力ある組織づくり、スキルアップ、知識向上ができる</p>

○各種顕彰・表彰委員会

各種顕彰表彰検討委員会		事業部、委員会名（ドロップダウンリストから選択）										
メンバー名：北林、治田、竹内、金子、山田、稲村、入山、折居												
活動計画（簡潔に記載）	主担当 Oreader	2024年度										
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
常任理事会（J）・理事会（R）					(J) 10/9 (R) 10/19					(J) 2/26	(R) 3/8	
(J)への資料提出〆切					10/1					2/18		
1 各種褒賞の一覧化（データ化）	○北林、治田、竹内、金子、山田		zoom会議、各種法相に関する情報収集			情報収集終了、一覧表を作成				一覧表完成。常任理事会へ提出。	新潟県栄養士会「栄養新潟」にて周知	
2 新潟県栄養士会会長賞の検討	○折居、入山、稲村、山田、北林、治田、竹内、金		zoom会議	各都道府県の会長賞の基準を調査			会長賞規定の検討			常任理事会へ規定案を提出		総会にて会長賞規定の承認を得る

日時	2024年8月2日(金) 19:00~19:45
会議名	2024年度 第1回 各種顕彰表彰検討委員会 会議
開催場所	オンライン会議 (Zoom)
出席者氏名	北林紘、治田麻理子、金子幸子、竹内瑞希、山田祥子、折居千恵子、入山八江
協議内容	<p>各種顕彰・表彰者増加を目的としたシステム体制整備について検討した。</p> <p>新たな表彰システムの提案</p> <p>顕彰や全国規模の表彰の推薦はハードルが高いため、対象となる方を推薦できない現状がある。まずは新潟県栄養士会長賞を設立し、支部活動に尽力してもらっている会員や職域で先進的な取り組みを行っている会員など、支部長、職域事業部長から広く募集するのはどうか。この賞を通じて、新潟県栄養士会会員の活動を把握しておき、全国規模の顕彰に値する実績が蓄積した際に、各種顕彰・表彰者として推薦するような流れがつくられるとよい。</p> <p>現在、25周年と50周年の会長表彰があるが、他県では20年や30年で会長表彰するところもある。会員として継続してもらいたいため、30周年表彰を設けてはどうか。推薦基準(対象年齢、会員歴など)を定めると良い。</p> <p>会員への顕彰・表彰情報の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県栄養士会 HP の会員ページに顕彰表彰に関する情報を提示して会員はいつでも見れる状態にする(特に支部長、職域部長には見てもらう)。 <p>退会者の扱い</p> <p>過去の名簿から元会員に連絡を取るのには問題があると考えられ、また、推薦された元会員側も退会後に栄養士会から連絡が来るのは困るのではないかと。</p> <p>県より依頼のある顕彰・表彰について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取りこぼしのないようにして欲しい。法律が変わったとき所管も変更になる。その場合、取りこぼしにつながるので、システム化が必要。 ・県等から推薦依頼があっても提出べ切までの期間が短く、広く対象者を選出することが難しい。 ・新潟市以外の方を県栄事務局は把握できない。学術部として、県内の対象者を取りこぼしのないシステム作り、例えば職域事業部長、支部長へ下して推薦してもらおう等のシステム作りをお願いしたい。 ・70歳以上の方の県知事や厚生労働省、叙勲等への表彰推薦は、継続会員を対象としたほうがよい。 ・会長や役員の任期が終了しても栄養士会の土台となって会を支え、健康で活動を継続できる方は新潟県としての新たな表彰システムで推薦したらどうか。 ・保健所や行政は褒賞や表彰の対象になりそうな栄養士を独自に調査している場合がある。保健所等と情報を共有し候補者を増やすのによいと考えられる。 ・表彰名と推薦基準を会員用ホームページに掲載し、該当者を募ったらどうか

2024 年度上半期の活動計画および進捗状況 支部活動

○村上支部

【公益 1】

事業名	村上支部 栄養の日・栄養週間事業
実施日①	西暦 2024年 8月 20日(火) 8時30分～16時30分
作成者	氏名 北林 紘 連絡先
事業テーマ	栄養の日・栄養週間事業
目的	栄養士会のPRと食育活動を行う。
実施場所	朝日学童保育所
対象及び出席人数	児童55人、学童教員7人、村上市こども課課長、メディア5名(新潟日報、村上新聞、いわふね新聞、朝日チャンネル)
事業内容	<p>19日) 13:00-16:30 朝日文化会館にて、米の軽量、野菜の下切り、調理器具の選定、当日の段取りの確認</p> <p>20日) 8:30 道具を朝日学童保育所に運搬。朝日文化会館調理室にて、野菜の下茹で・米の炊飯開始 9:00 朝児童保育所の会場設営、カレールーをお湯に溶かしてルーの準備 10:30 下茹でした野菜と炊飯したご飯が到着。野菜とカレールーを合わせて煮込む 11:30 こども食堂開店 児童にカレーを配布 12:10 栄養士の食育紙芝居(平山、中村) 12:25 栄養教諭のやさいのお話し(日下部) 12:45 おかし・ジュースのさとう量当てクイズ(北林、宮村) 13:20 記念撮影 13:30 こども食堂閉店 13:30-16:30 朝日文化会館にて調理器具の洗浄、片付け、反省会を行い、終了</p>
効果・成果	<p>こども食堂事業の助成金を得たことで、当初予定していた規模よりも大きな事業を実施することができ、行政やメディアにも大きく取り上げていただけたので、栄養士会村上支部のPRや活動を知っていただくには十分な成果を得ることができたと思います。児童達にも喜んでもらえ、大変ではありましたが支部会員も皆達成感を感じていました。</p> <p>非会員ではありましたが今回は朝日小学校の栄養教諭にも参加してもらったことで、見慣れない大人が大勢いても子供たちも安心していただけたように感じました。今後もこども食堂を行う際は、その地区の栄養教諭との連携して実施していきたいと考えています。</p> <p>今回のこども食堂では子供の肥満の改善が目的の一つでもありましたが、学童に集まる児童たちの中に肥満傾向にある子は1名程度しか見かけることができなかつたため、目的とする対象と接するにはまた別の方法を考える必要があることがわかりました。</p> <p>まずは第一歩としての実績を残すことはできたため、このまま活動を継続するための方法や手段についても検討を進め、継続的な支部活動に発展できるよう検討していきたいと思ひます。</p>

事業名	村上ふれ愛フェスティバル(主催:社会福祉法人 村上市社会福祉協議会)		
実施日①	西暦 2024年 10月 12日(土) 8時0分～12時30分頃		
作成者	氏名	北林 紘	連絡先
事業テーマ	「ふれ愛フェスティバル」は開催予定会場が空調設備工事により使用不可となったため、主催者側の判断で開催規模を縮小し、今年度は「ふくしマーケット」という催しに変更となりました。開催目的は、「市内の福祉事業所・ボランティア団体の活動を市民へ紹介するとともに、福祉関係者・ボランティアの交流・連携を深めること」を目的としています。		
目的	ふくしマーケットに参加し、村上地域住民に新潟県栄養士会村上支部のPR活動を行う。		
実施場所	神林農村環境改善センター		
対象及び出席人数	村上地域住民、介護福祉従事者および関連団体 約200名		
事業内容	ふくしマーケットに参加して、栄養士会ブースを設置し、新潟県栄養士会村上支部を周知することと、食塩の過剰摂取防止のための啓発活動を行う。		
効果・成果	<p>栄養士会村上支部ブースを開設し、食塩摂取目標量の周知と減塩に関する資料配布、展示を行いました。</p> <p>展示では、ご自身の食塩摂取目標量を視覚的にも理解していただくために、実際の塩を計量していただく企画を実施したところ、高齢者から子供たちまで非常に好評でした。その後、料理や食品に含まれている食塩量を確認していただき、気を付けないとすぐに食塩の取りすぎになってしまうことを理解していただきました。今回は子供連れの来場者が多くみられましたが、子供の食塩摂取目標量と大人の食塩摂取目標量が異なることを理解してもらう良い機会にもなったと思います。</p> <p>正確な来場者の報告はまだ不明ですが、感覚的には200人超の来場者がいたと思います。また、今回は会場が小さめだったため、来場者のほとんどにブースへ立ち寄っていただけました。そのため、栄養士会や食塩過剰摂取予防のPRを十分に実施できたと考えられます。</p>		

【公益2】

事業名	新潟県栄養士会村上支部 事業報告会・交流会		
実施日①	西暦 2024年 6月 29日(土) 9時30分～12時0分		
作成者	氏名	北林 紘	連絡先
事業テーマ	会員交流会、2023年度支部事業報告および2024年度事業計画について		
目的	村上支部会員の交流を促し、支部での活動を活性化させる		
実施場所	村上記念病院会議室		
対象及び出席人数	14名		
事業内容	<p>9:30 開会・自己紹介</p> <p>9:40 支部交流会(各職域からの事例発表)</p> <p>医療:山北徳洲会病院 齋藤美奈</p> <p>福祉:介護医療院瀬波 片桐牧子</p> <p>公衆衛生:関川村役場 須貝 悠</p> <p>地域活動:本間てるみ</p> <p>11:05 休憩・企業展示(明治株式会社)</p> <p>11:30 支部総会・2023年度事業報告・2024年度活動計画</p> <p>12:00 閉会</p>		
効果・成果	支部会員14名の参加がありました。支部交流会の事例発表では、日ごろの業務内容や支部会員に相談したいこと、などを挙げていただきました。皆さん活発に意見交換や質問があり、非常に盛り上がったため、事例発表の時間を延長し、予定していた「クロスロードゲーム」の実施は中止しました。また、今回始めて支部会に参加された若手会員も2名もおり、先輩とのつながりができただけでなく、若手同士のつながりができたことをとても喜んでいただくことが印象的でした。引き続き、支部事業への参加も呼びかけて、支部内の会員同士のつながりをさらに発展させていけたらと思います。		

【多団体ネットワーク】

会議名称	令和6年度在宅医療推進センター作業部会代表者会議		
開催日時(西暦)	2024/6/21 18:00-19:15	開催場所	村上市岩船郡医師会館
出席者氏名	地域包括支援センター職員、村上市職員、関川村職員、村上保健所職員、看護師、管理栄養士、理学療法士、歯科衛生士、社会福祉士、介護支援専門員、村上地域在宅医療推進センター職員		
作成者氏名	北林 紘		
<p>議題</p> <p>①令和5年度多職種連携研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村上おかだクリニック 岡田慎輔 医師による「意思決定支援」についての講和 ・もしバナゲームの実践 ・意見交換会 <p>アンケートでは、参加者60名の半数以上から大変満足、満足との回答が得られた アンケートにて、ACPをさらに学びたいとの意見が多かったため、令和6年度もACPに関連した研修会を検討したい。</p> <p>②令和6年度の多職種研修会のテーマについて</p> <p>今年度は在宅医療を実践している医師、訪問看護師等からACPを行った事例について紹介していただくことになった。多職種と連携を行っていた事例ならその実際の連携内容や連携の取り方について、連携が無かった場合は事例を通して、専門職種(管理栄養士、リハ職、薬剤師、歯科衛生士、ケアマネ、社会福祉士)はどのような介入が行えるかを検討し意見交換を行う内容とすることにした。また、新発田・村上地域で運用されている医療介護ネットワークシステムである「ときネット」をさらに普及させるために、「ときネット」が活用された事例とすることも加えられた。</p> <p>後日、在宅医療推進センター職員が在宅医療を実践している医師のもとに相談に行き、本内容で研修会を実施できるかさらに検討することになった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>			

日時	2024年7月11日 14:00~14:40
会議名	令和6年度第1回かえつ医療介護連携協議会
開催場所	下越総合健康開発センター 2階 大講堂
出席者氏名	宮村 愛 (新潟県栄養士会村上支部)、ほか出席者 事前資料参照
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. かえつ医療介護連携協議会 組織図 2. 現状報告 3. 各システムの進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域連携パスシステム作業部会 (2) 医療・介護・看護・救急情報システム作業部会 (3) 歯科連携作業部会 4. 村上市岩船郡医師会からの報告 5. 企画広報委員会からの報告 6. その他：ときネット運用に今後の変更点、利便性向上に向けての動き
(地域栄養ケア担当) ご自身の気づきや今後活かしていきたいこと	<p>「ときネット」に関して、多くの職種団体が関わり運用されていることを実感した。地域包括システムを円滑に進めるためには画期的なツールだと感じた。</p> <p>現在、勤務先の施設は未登録。しかし、介護報酬改定に伴い高齢者施設等と協力医療機関との連携を求められており、協力医療機関である県立坂町病院からも「ときネット」への登録を勧められている現状。近日中に勤務先も登録予定。登録後は積極的にこのシステムを活用していきたい。</p>

日時	2024年7月22日 19:00~20:00
会議名	村上地域在宅医療推進委員会
開催場所	村上市岩船郡医師会館
出席者氏名 (所属団体)	添付資料参照
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度在宅衣装推進センター最終決算報告 ・令和6年度事業並びに進捗状況について ・他組織の連携について ・意見交換 テーマ「在宅医療について」 ・在宅医療推進センターからの令和6年度在宅医療普及啓発上映会への共催依頼
(地域栄養ケア担当) ご自身の気づきや 今後活かしていきたいこと	<p>村上地域では在宅医療に従事している医師3名により、現在約120名程度の在宅医療を受けている患者がいることがわかりました。これらの医師の力になるため、訪問栄養指導の受託も検討したいところですが、村上支部では人材不足もあり、そこが一番の課題となっています。そのため、会員数の増加も在宅訪問栄養指導を推進するためには取り組む必要があると考えられます。</p>

○新発田支部

【公益 1】

【公益 2】

事業名	新発田支部活動報告会		
実施日①	西暦 2024年7月28日(日) 9時30分～12時0分		
作成者	氏名	大関 千寛	連絡先
事業テーマ	会員相互の交流を図る。		
目的	支部活動の円滑な運営と、会員の資質向上を目的とする。		
実施場所	健康長寿アクティブ交流センター あおり館1階 屋内広場		
対象及び出席人数	新発田支部会員 28名		
事業内容	<p>職域別の活動報告・意見交換会</p> <p>○支部活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療(栄養)事業説明(食形態、栄養情報提供書について) ・各種研修会予定(食形態、地域ケア個別会議新任助言者向け) <p>○実践発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新発田地域振興局 健康福祉環境部地域保健課 草野亮子 ・阿賀北総合福祉協会 川上優 <p>※実践発表の資料は当日のみ、配布はなし。</p> <p>○情報交換会</p> <p>4～5名ずつ6グループに分かれてグループワークを行った。</p>		
効果・成果	<p>・実践発表は、保健所の草野さんより第三次健康日本21に紐づく新潟県の健康対策についての情報提供を行っていただいた。また、川上さんからは阿賀北総合福祉会の施設や給食サービスの紹介をしていただいた。</p> <p>・情報交換会は、職域が違う中でも同じ悩みを抱えていたり、新たな視点で考えることができたり有意義な時間となった。病院と福祉の横のつながりもでき、今後の業務にも役立てられそうであった。</p>		

【多団体ネットワーク】

会議名称	令和6年度 ときネット研修会		
開催日時(西暦)	2024/6/18 19時～	開催場所	下越総合健康開発センター大講堂 (Web併用)
出席者氏名	医師、薬剤師、管理栄養士等		
作成者氏名	地域栄養ケア担当 伊藤涼子		
<p>在宅医療におけるICTを用いた連携 ～R6年度 診療報酬・介護報酬改定に関連して</p> <p>報酬改定により、より密に在宅の情報を医療、薬局、地域包括、介護との連携が必要になる。連携をスムーズに行うためには、ICT(パソコンなどを使用した情報の共有)の導入が推奨される。</p> <p>セキュリティーについて ICT等安全に使用する為に、資料のセキュリティー対策チェックリスト(*印は優先事項)を活用し厚生労働省のサイバーセキュリティーマニュアルを参考にしながら、現状使用しているパソコンやサーバー、ハードディスク、ルーター等の台数、Windowsの何なのか?いつ購入したのか?IPアドレスは決まっているのか、変動しているのかを台帳で管理し、いざというときに備えが必要である。</p>			

○新潟支部

【公益1】

事業名	歯と口の健康フェア(新潟市歯科医師会に協力)		
実施日①	西暦 2024年 6月 2日(日) 10時0分～15時0分		
作成者	氏名	山崎 明子	連絡先 n
事業テーマ	身につけよう持続可能な健口習慣 ～いつまでも口から食べるたのしみを～		
目的	子供から高齢者を対象に、口腔ケアの重要性を示し、いくつになっても健康な歯を保持出来る様に啓蒙活動を行う		
実施場所	新潟ふるさと村		
対象及び出席人数	一般市民 306人(栄養士会のブース来客者)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健口食育クイズ(カルシウムクイズ) ・1日に必要なカルシウム量を食品を用いて展示 ・カルシウムの多いお菓子のサンプル品の提供 ・バランスのよい食事について 		
効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・カルシウムの多い食品について食品展示やカルシウムクイズを通して分かりやすく伝えることができた。 ・歯の状態が低下すると栄養状態が徐々に低下し、日常生活の機能低下、フレイル・サルコペニアへとつながることの知識の普及につながった。 ・ローリングストックやバッククッキングの情報提供を行い、災害時の食事の備えについて考えるきっかけとなって頂けた。 		

○佐渡支部

【公益 1】

【公益 2】

【多団体ネットワーク】

日時	2024年9月5日 14:00~15:00
会議名	令和6年度 第1回 佐渡地域包括ケア会議
開催場所	佐渡市金井コミュニティセンター1階ホール（大集会室）
出席者氏名 （所属団体）	外館 梓 （社会福祉法人佐渡福社会 岩の平園）
協議内容 ※必要に応じて行 を追加して下さ い。	<p>「佐渡市における食支援の取組みについて」</p> <p>(1) 会議概要説明</p> <p>(2) 東圏域の食支援に関する取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両津地区を対象に食の確保についての聞き取り調査を実施。 ★アンケートの結果は困っている方はいなかったが、「移動販売やネット通販の情報を知らなかった、活用したことがない」という声があった。 ★困ってからではなく、食の確保ができている元気なうちから将来の事を考えておく事が必要。 ★せっかくあるサービスを知らない⇒サービスの周知方法を探る。 <p>(3) 佐渡市の食支援に関する取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気100歳いいねかっちゃ弁当の販売 ・移動販売車・配食サービス事業 ・通所型サービスC（短期集中予防サービス） ・健康学習会の実施 ・低栄養予防の為のレシピの配布 ・佐渡テレビ「はつらつ健康教室」 ・地域食堂 <p>(4) 意見交換</p> <p>各職域から佐渡地域における食支援に関する活動の報告や課題の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材料費燃料費の高騰 ・移動販売の周知について ・食形態マップの整備及び在宅での食事に関する参考リーフレットの作成 ・佐渡市役所での保健師、栄養士の活動紹介 ・国民健康保険、健康診断結果の情報共有 ・フレイル予防は介護予防 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の会議予定について
（地域栄養ケア担 当） ご自身の気づきや 今後活かしていき たいこと	<p>高齢社会の全国トップを走る佐渡地域において、一人暮らしの高齢者、在宅の要介護者が抱える食の課題（買い物や調理困難、食欲低下など）を共有できたとても意義のある内容であったと感じている。</p> <p>各職域がそれぞれの立場から知恵を出し合い、佐渡地域の問題解決に向かっていきたい。</p> <p>《佐渡支部としての課題、展望》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅高齢者の孤立化を予防 ・フレイル予防の普及啓発 ・他団体とのネットワーク作り ・介護者（家族）の食支援

○三条支部

【公益 1】

会議名称	三条まんま塾 令和6年度総会、講演会		
開催日時(西暦)	2024年6月2日(日) 14:00-16:30	開催 場所	越前屋ホテル 三条市元町2-16
出席者氏名	総会出席41名(参加者名簿配布ないため、出席氏名記載できません)		
作成者氏名	地域栄養ケア担当 青木友美		
協議内容			
<p>第1号議案 令和5年度事業報告 賛成多数で承認 第2号議案 令和5年度収入支出決算報告&会計監査報告 賛成多数で承認 第3号議案 規約改定 賛成多数で承認 事務局:三条市役所食育推進室 から 事務所:三条市内に置く に変更 第4号議案 令和6年度事業計画 賛成多数で承認 第5号議案 令和6年度収入支出予算 賛成多数で承認 第6号議案 役員選任 賛成多数で承認 令和6年度総会にて 会長交代 川瀬弓子(令和5年度まで)から轡田秋夫が務める</p>			
連絡事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・三条まんま塾LINE公式アカウントへの登録を勧めてほしい(各行事予定などの配信あり) ・7/6食と農の元気アップ講座への参加者募集 			
講演会			
三条まんま塾防災講座～自分の命は自分で守る～			
講師:日本防災士会新潟支部長 防災士 松岡輝彦 氏			
風水害・地震への備えのため、防災と減災が必要であり、風水害については国土の特徴から最近の気象状況を交えハザードマップの活用を説かれた			
地震については、新潟県内で起きる地震の被害想定と能登半島地震からの事例をあげ、減災のため耐震対策について説かれた			
国土交通省北陸地方整備局ホームページには、新潟県内の液状化しやすさマップが掲載されており、自分の居住地区を知ること、今後 家を建てるのであれば、マップを確認し安全なところに建設すべきとあつ			

事業名	歯と口の健康フェア		
実施日①	西暦 2024年6月9日(日) 8時45分～12時0分		
作成者	氏名 諏佐春華	連絡先	三条市役所福祉保健部健康づくり課/食育推進室(0256-34-5448)
事業テーマ	歯と口の健康フェスティバル		
目的	子どもから高齢者を対象に、口腔ケアの重要性を示し、いくつになっても健康な歯を保持出来る様に啓蒙活動を行う。		
実施場所	三条市総合福祉センター 3階		
対象及び出席人数	一般市民(約100人)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健口食育クイズの実施(チラシ配布) ・カルシウムの多い食品のフードモデルや、カルシウムの摂り方に関するタペストリーの展示 ・カルシウムの多い菓子類の配布 		
効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・カルシウムが歯と口の健康に必要なことを参加者に伝えることができた。 ・カルシウムの多い食品や1日に必要なカルシウム量を実際に見てもらうことで、より具体的なイメージにつなげることができた。 ・クイズを行うことで、子どもから楽しんで参加してもらうことができた。 ・歯と口の健康を伝えるだけでなく、栄養士会のPRにもつながった。 		

【公益 2】

【多団体ネットワーク】

日時	2024年7月11日 18:30-19:30
会議名	令和6年度 三条保健所管内 CKD・糖尿病対策連携推進会議
開催場所	オンライン (zoom)
出席者氏名 (所属団体)	病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、専門医、保健者、行政、事務局 (三条地域振興局健康福祉部地域保健課、医薬予防課)
協議内容	<p>(1) 報告</p> <p>令和6年度三条保健所管内のCKD・糖尿病対策の取組について</p> <p>ア新潟県のCKD・糖尿病対策に関する取組</p> <p>イ三条保健所管内のCKD・糖尿病対策に関する取組</p> <p>(2) 意見交換</p> <p>三条保健所管内のCKD・糖尿病対策の取組について</p> <p>ア医療連携体制の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県地域糖尿病・CKD協力医の養成について ・非専門医や糖尿病に関わる地域関係者を対象とした研修会の実施について <p>イポピュレーションアプローチの強化</p> <p>ウ今後の推進体制</p>
(地域栄養ケア担当) ご自身の気づき や今後活かして いきたいこと	<p>・医師より</p> <p>「医科だけでなく歯科、眼科、薬剤師、栄養士に重症化予防に参画してもらいたい。その為には全体的に参加できるセミナーの企画となるとよい。上記の関係者連携が重要になる。」と意見があった。</p> <p>・事務局から、栄養士会として意見を求められ、</p> <p>「この会議内容を伝え、栄養士会として何ができるか、次回の会議で報告できるようにしたい。また、栄養士会にこんなことをしてもらいたいとのご意見あれば、お聞かせいただきたい。」と発言した。</p> <p>具体的な提案は会議時間が短いこともあり、なかった。栄養士会としてできることを次回会議(2025年1月～3月)に提示できるか、お聞かせ下さい。</p> <p>青木個人レベルでは、添付セミナーに参加していくことで自己研鑽としたい。</p>

○長岡支部

【公益 1】

会議名称	長岡市委託「令和6年度 CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業」事業説明会		
開催日時(西暦)	2024年6月4日(火)14:00~15:30	開催場所	さいわいプラザ 2F 健診ホール
出席者氏名	【栄養士会長岡支部】 熊倉 利恵・中俣 裕子・津軽 智子・小林 直子・松田 トミ子・海発 咲子 高橋 友美・齋藤 啓子・米倉 里香・齋木 沙綾・橘 妙佳・佐藤 文子 鈴木 智子・五十嵐 初代・近藤 寛子・小沼 真理・石田 由衣・江口 朋美 服部 涼音・堀 裕子・吉原 緑・小笠原 洋子・高綱 晶子・中村 シゲミ 松井 直子・山田 チヨ・吉野 光江・小島留美子、長岡市健康増進課×5名 合計28名		
長岡市委託「令和6年度 CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業」事業説明会 議題 1. 「令和6年度 CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業」の概要説明: 長岡市健康増進課 資料(CKD・糖尿病成腎症栄養指導事業概要)一覧表を用いた説明 ・対象者・案内通知基準・予約方法について 2. 「令和6年度 CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業」の概要説明: 栄養士会長岡支部 資料(CKD・糖尿病成腎症栄養指導事業概要)一覧表を用いた説明 ・事前準備・事前送付について ・当日使用資料の確認について			

会議名称	長岡市委託 CKD糖尿病性腎症重症化予防栄養指導事業 第1回 実行委員会												
開催日時(西暦)	2024年6月4日(火)15:30~17:00	開催場所	さいわいプラザ2階健診ホール										
出席者氏名	支部長 中俣裕子 旧支部長 熊倉利江 【実行委員】 高橋友美 米倉里香 橘妙佳 齋藤啓子 佐藤文子 齋木綾香 小林直子 津軽智子 【旧実行委員】 松田トミ子・海発咲子 (以上12名)												
「長岡市CKD栄養指導事業」第1回 実行委員会 1) 今年度の長岡市委託 CKD糖尿病性腎症重症化予防栄養指導事業の事業説明会終了後に 新旧実行委員で詳細の引継ぎを実施した。 2) 実行委員の役割確認 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">【総括、長岡市との連絡調整など】</td> <td>実行委員長: 高橋友美</td> </tr> <tr> <td>【対象者名簿管理、協力栄養士の調整、顧問医師への連絡・指導確認】</td> <td>齋藤啓子</td> </tr> <tr> <td>【会計管理、手許金の管理】</td> <td>米倉里香・橘 妙佳</td> </tr> <tr> <td>【文書管理】</td> <td>佐藤文子・齋木綾香</td> </tr> <tr> <td>【アドバイザー】</td> <td>小林直子</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上</p>				【総括、長岡市との連絡調整など】	実行委員長: 高橋友美	【対象者名簿管理、協力栄養士の調整、顧問医師への連絡・指導確認】	齋藤啓子	【会計管理、手許金の管理】	米倉里香・橘 妙佳	【文書管理】	佐藤文子・齋木綾香	【アドバイザー】	小林直子
【総括、長岡市との連絡調整など】	実行委員長: 高橋友美												
【対象者名簿管理、協力栄養士の調整、顧問医師への連絡・指導確認】	齋藤啓子												
【会計管理、手許金の管理】	米倉里香・橘 妙佳												
【文書管理】	佐藤文子・齋木綾香												
【アドバイザー】	小林直子												

会議名称	長岡市委託「令和6年度 CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業」スタッフ研修会		
開催日時(西暦)	2024年6月22日(土) 10時～12時	開催場所	長岡中央公民館 3階 301教室
出席者氏名	中俣 裕子・米倉 里香・五十嵐 初代・熊倉 利江・山田 チヨ・西川 悦子・松井 直子・中村 シゲミ・堀 裕子・小笠原 洋子・齋藤 啓子・吉原 緑・松田 トミ子 (以上13名)		
作成者氏名	佐藤文子		
長岡市委託 「令和6年度 CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業」スタッフ研修会 1、講演			
演題	「対象者を活かす栄養指導 ～対象者の気持ちを引き出す聞き返し+是認+(要約)～」 (レクチャー・ワーク・質問・討議など)		
講師	北陸学院大学教授・長野県立大学名誉教授 笠原賀子 先生		
			以上

事業名	すこやかともしびまつり2024 (主催:長岡市福祉総務課)		
実施日② (複数日の場合)	2024年9月14日(土)～15日(日)		
事業テーマ	ちょう(腸)！！うんち～腸内細菌でおなかを元気に～		
目的	食生活の意識改善 腸内をきれいにするのが病気予防にもつながることを、わかりやすく知らせる		
実施場所	アオーレ長岡		
対象及び 出席人数	栄養士会ブースへの来場者人数:512人 ・家族で排便習慣の見直しができるように持ち帰り用 冊子に子供向けのめざしたい生活習慣について掲載。 ・1日に必要な野菜摂取量(350g)を知ってもらうとともに、野菜料理を1日何皿食べると良いか考えてもらう。 ・調理方法や外食や中食の時の野菜料理の補い方など実践につなげられるようアドバイスをを行った。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○うんちクイズ ○エプロンシアター掲示 ○野菜の1日の必要量 ○食物繊維のポスター ○パネル(ヤクルトより)資料 ○その他、冊子による体験コーナー ○景品(提供:ヤクルトより) <p>料理カードを用意しておき、料理に含まれる野菜の量を知ってもらう。 自分が食べれそうな料理カードを選んでもらい、どのくらい野菜が摂れているか知ってもらう。</p>		
効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の1日の摂取目標量350g、調理後の目安となる5皿など量について伝えると、野菜不足を認識している参加者が多かった。 ・うんちクイズの答え合わせの後には、排便状況や朝食の喫食状況について伺い、掲示物を用いてアドバイスをを行った。参加者は理解が深まったり、実践しようと思いう意欲が見られた。 ・家族や友人同士で食事を振り返る機会になり、それぞれ学びを深めていた。 		

【公益 2】

【多団体ネットワーク】

会議名称	包括けさじろ 地域ケア会議(圏域)		
開催日時(西暦)	2024、6. 28	開催場所	高齢者センターけさじろ 3階和室
出席者氏名	小林直子、対象者及びご家族、多職種		
作成者氏名	小林直子	提出日(西暦)	2024.7.4
<p>地域包括ケア会議にアドバイザーとして出席した。</p> <p>職種は社会福祉士、理学療法士、保健師、長寿はつらつ課係長、介護支援専門員、管理栄養士、ケアマネ相談員</p> <p>対象者はAさん87歳、娘さんと暮らしている。</p> <p>骨折療養後長く歩くことが困難になったうえ、半年で3kg体重減少が見られ フレイル予防の見地から会議がもようされた。</p> <p>元気に歩けるようになって山の見えるところまで行きたいという希望を達成できるよう、運動 食事各分野に助言を求められた。</p> <p>食事は様々なものが食べられるとのこと おつまみ的な食事の提供でなく</p> <p>主食・主菜・副菜がはっきりわかる食事にする 一度に食べられないときは間食の時間に分けて食べる工夫をするよう勧めた。</p> <p>たんぱく質は大事だが、主食によるエネルギーの取り方が少ないと痩せてくるので注意を促した。</p>			

会議名称	令和6年度 生活習慣病重症化予防対策会議		
開催日時(西暦)	2024、9. 10(火)19時から20時30分	開催場所	さいわいプラザ2階 第5健診室
出席者氏名	山崎 肇 八幡和明 木村慶太 小島美代 小林直子 曾根玲子 久保久美 恩田房子 山田悠莉子 上石寧々		
作成者氏名	小林直子		
<p>令和6年 長岡市CKD /糖尿病性腎症重症化予防対策会議に構成員として出席した。</p> <p>予防対策会議の要領、次第は添付資料のとおり</p> <p>長岡支部では委託事業として栄養相談会に携わっているがスタッフの高齢化が問題 中央病院の八幡医師からも指摘され、若い会員の協力が望めるよう努めるよう励まされた</p>			

○魚沼支部

【公益 1】

【公益 2】

日時	2024年7月20日 9:30~11:55
会議名	魚沼支部会
開催場所	北里大学保健衛生専門学院
出席者氏名	魚沼支部会員27名(役員6名含) 魚沼支部役員(6名) 鶴川一寛、大平剛輝、猪川香奈、今泉菜津美、小幡郁子、山崎毅
協議内容	1.支部長挨拶 2.令和5年度活動報告 令和6年度活動予定計画 3.令和5年度各事業部活動報告 ① 魚沼支部職域報告(福祉) 鶴川一寛 ② 職域活動報告(医療事業部) 大平剛輝 ③ 魚沼市市民福祉部健康増進課の取り組み 猪川香奈 ④ 南魚沼地域との連携 入江由紀 ⑤ 地域活動令和5年度 活動報告 小幡郁子 ⑥ 令和5年度学校健康教育部会活動報告 山崎毅 4.講演「魚沼圏域における栄養情報連携の推進について」 事例報告「能登半島地震におけるJDA-DAT活動について」 南魚沼地域振興局 健康福祉環境部 磯部澄枝様 5.閉会

【多団体ネットワーク】

件名	R6年度 第1回 ワーキングチーム会議		
期日	令和6年5月30日(木)	時間	午後4時00分~5時15分
場所	K病院	報告者	x x x
出席者	18名	公社出席者	3名
<内容> 検討 1) 多職種連携における各区分等の課題について 2) 今年度の取り組みについて			

会議名	令和6年度在宅医療推進センター運営協議会報告書		
期日	令和6年5月30日(水)	時間	午後7時から8時
場所	K病院	報告者	x x x
出席	委員11名	アドバイザー1名	事務局3名 合計15名
○議事内容 1) 令和5年度事業報告および収支決算報告について 2) 令和6年度事業計画(案)および収支予算(案)について 3) 課題検討 ○意見交換			

日時	2024年9月12日 16:00~17:15
会議名	第2回 ワーキングチーム会議
開催場所	小出病院 講堂
出席者氏名 (所属団体)	別紙会議名簿にて
協議内容	会議録参照
(地域栄養ケア担当) ご自身の気づきや 今後活かしていきたいこと	今回の会議内容、意見は担当へ伝わりづらいため、担当者へ直接伝え次年度の市の事業につながるようにはたらきかける。

○十日町支部

【公益 1】

【公益 2】

日時	2024年7月29日 16:00~17:00
会議名	令和6年度十日町地域高齢者栄養管理連携研究会第1回企画検討会
開催場所	十日町地域振興局健康福祉部
出席者氏名	池田美有紀、千原薫、蕪木康子、相場尚子 計4名
協議内容	<p>1. 自己紹介</p> <p>2. 令和5年度の研修会の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究会の内容について説明 ・R5年度の研究会について説明 <p>3 令和6年度の企画内容について</p> <p>(1)テーマ、開催方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和6年診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス改定を学ぶ」をテーマにする ・今年度、魚沼圏域で取り組む「医療・介護・障害福祉連携強化によるシームレスな栄養管理体制づくりに向けた研修会」(10月17日(木)午後開催予定) <p>(2)時期、内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期は、魚沼圏域の研修会の同一日にする ⇒ 10月17日(木)午前 ・内容についての講師ができる人いないか? ⇒ 思い当たらない。内容をどうするか検討が必要。

【多団体ネットワーク】

日時	2024年6月20日 15時~16時
会議名	令和6年度第一回在宅医療介護連携協議会
開催場所	Zoom
出席者氏名	蕪木康子
協議内容	<p>①令和五年度つまり医療介護連携センター事業報告について</p> <p>②令和五年度収支決算報告について</p> <p>③今後の「在宅医療・介護連携推進事業」について</p>
(地域栄養ケア担当) ご自身の気づき や今後活かして いきたいこと	今後も協議会の継続を維持するのに、行政の支援の必要性を強く感じた。

日時	2024年8月29日 18:30~20:00
会議名	十日町地域糖尿病対策連携会議企画委員会
開催場所	十日町地域振興局 3階講堂
出席者氏名	蕪木 康子
協議内容	9月29日(日)に「市民活動ひとサポまつり めっかめっか2024」にて実施する糖尿病予防ワークショップの実施内容を検討した。 日時:9月29日(日)10:00~14:00 場所:分じろう ギャラリー(十日町市本町2丁目226番地4) 1時間毎2ブースに分け各団体が活動を実施する(別紙参照) 栄養士会はスライドによる来場者への個別・集団指導を提案。 他に、エネルギーの金額換算など、栄養指導媒体を紹介した。
(地域栄養ケア担当) ご自身の気づき や今後活かして いきたいこと	医師会や薬剤師会等、看護師会等の各職域が参加しての話し合いとなり大いに勉強になった。 また、十日町病院の齋藤先生の出席もあり、会が大変スムーズに進行した。

○柏崎支部

【公益 1】

【公益 2】

【多団体ネットワーク】

日時	2024年5月31日 14:30~16:30
会議名	柏崎市学校給食共同調理場運営委員会（第1回）
開催場所	柏崎市役所
出席者氏名 （所属団体）	藤田 庸子
協議内容	(1) 役員の互選について (2) 令和5年度学校給食会計決算状況について (3) 令和6年度学校給食共同調理場の運営について (4) その他
（地域栄養ケア担当） ご自身の気づきや 今後活かしていきたいこと	委員より、学校給食の現場において「災害時の食の備え」を取り上げることが必要ではないかとの提案があり、共感した。

日時	2024年7月4日 14:00~16:00
会議名	令和6年度 第1回柏崎市食の地産地消推進会議
開催場所	柏崎市役所
出席者氏名 （所属団体）	今井 恵（地域活動事業部）、他多団体
協議内容	<p>1 令和6年度地産地消に関する施策について</p> <p><u>基本指針1 環境にやさしく安全な</u></p> <p>・昨年度計画された取り組み計画及び指標について検討した。新潟県特別栽培農産物認証以上の環境農業面積、環境保全型農業直接支払交付金事業面積、学校給食での減農薬減化学肥料米の提供、過半数を有機食材とした給食の回数、環境と調和のとれた農業生産の理解促進 ⇒ 委員から達成が難しい目標となっている項目について、厳しい意見が出ていた。</p> <p><u>基本指針2 柏崎の食をいつくしみ 柏崎の美味しいレシピの活用</u></p> <p>⇒教育関係の代表より給食を活用した食育の取り組みを交えて説明を受けた。市の取り組みとして、収穫体験等のイベントの実施より住民へ発信事業の説明を受けた。</p> <p><u>基本指針3 越後の食文化を知る</u></p> <p>⇒JA越後中越での地場産野菜の売上についてや、学校給食での国産農林水産品・県産農林水産品の使用割合の向上に努めていることの報告を受けた。</p> <p><u>地産地消の可視化</u></p> <p>⇒昨年度開催された地産地消のイベント時に参加した住民にアンケートを取り、上がった意見を活用していく。一次産品者と飲食店とのマッチング事業を行ない、地産地消の推進を図っていく。</p>

(地域栄養ケア担当) ご自身の気づきや 今後活かしていきたいこと	県栄養士会柏崎支部として参加内容を報告し、取り組みに貢献できる事があれば、事業に協力していきたいと思った。
--	---

日時	2024年8月23日 13:30~15:00
会議名	令和6年度柏崎地域慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策連携事業 「診療所等における療養・栄養指導等検討ワーキング会議」
開催場所	新潟県柏崎地域振興局健康福祉部（柏崎保健所）
出席者氏名 （所属団体）	今井 恵（地域活動事業部）、他多団体
協議内容	<p>1 進捗状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柏崎総合医療センターより 外来糖尿病教室の計画についての報告 ・ 柏崎市健康推進課 協会けんぽと柏崎市による糖尿病重症化予防サポート事業について ・ 刈羽村：村の取り組みについて ・ 開業医院： 当院の取り組みについて ・ 薬剤師会：今現在行なっている事 ・ 栄養士会：開業医と契約している栄養士の取り組みや今現在の報告 <p>2 継続的な医療に繋げる為のポイントについて</p> <p>1の報告を受け、前回の会議より意見が出ていた柏崎・刈羽地域での統一した指導媒体（資料）について、会議資料の『知っておきたい（糖尿病）～やさしく学ぶための第一歩～』を活用について検討</p> <p>3 今後の計画について・その他</p> <p>⇒ 主催者側が今回の意見をまとめ出席者へフィードバックし、それぞれで再度検討。</p>
(地域栄養ケア担当) ご自身の気づきや 今後活かしていきたいこと	県栄養士会柏崎支部として会議検討内容の報告を行なった。 当会として、開業医と契約している栄養士と意見交換し、次回の会議に臨みたいと思う。

○上越支部

【公益 1】

【公益 2】

【多団体ネットワーク】

日時	2024年6月18日 19:00~20:30
会議名	上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会 第2回市民啓発部会
開催場所	上越市教育プラザ 小会議室
出席者氏名 (所属団体)	上越医師会、上越薬剤師会、新潟県老施協、ケアマネ協議会、 地域包括支援センター、上越地域振興局、 事務局3名(上越市2名、妙高市1名、推進センター1名) 大平真由美(新潟県栄養士会上越支部)
協議内容	・令和5年度取り組みの振り返り ・4部会(入退院時連携推進部会、対人支援スキルアップ、急変時対応、市民啓発)全体での目指す姿を確認 ・市民啓発部会の目標設定・今後の取り組み方針の検討 →市民啓発の前に専門職への啓発を行う。 (1)リーフレットの有効活用 (2)評価を考えるためのアンケート作成を検討
(地域栄養ケア担当) ご自身の気づきや 今後活かしていきたいこと	・(市民啓発を前提とした専門職の啓発活動)この考え方は、 栄養士の(多職種連携のための同職種連携)の考え方と一致する。 また、媒体の活用法や評価のアンケートなど、学ぶべき点は多い。 他の専門職から得たことを栄養士の活動に生かしていきたい。

日時	2024年8月30日 19:00~20:30
会議名	上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会 第2回市民啓発部会
開催場所	上越市教育プラザ 小会議室
出席者氏名 (所属団体)	上越医師会、上越薬剤師会、新潟県老施協、ケアマネ協議会、 地域包括支援センター、上越地域振興局、 事務局3名(上越市2名、妙高市1名、推進センター1名) 大平真由美(新潟県栄養士会上越支部)
協議内容	・在宅医療の基礎となるACPの普及啓発を進める。 市民にACPを啓発していくために、専門職自身がACPを知り、身近なものとしてとらえる必要がある。 *職能団体や職場単位の研修会を通じ、ACPの啓発やリーフレットの有効な活用方法について意見交換を行う。 *アンケートによる実態調査(アンケート項目の精査)を実施する。
(地域栄養ケア担当) ご自身の気づきや 今後活かしていきたいこと	ライフステージのターニングポイントで関わる職種で途切れのない支援が可能であることをPRしている。食から将来を考えるきっかけを与えられるようにしたい。

新潟県栄養士会勤労者支援・地域活動事業部統合「フリーランス・栄養関連企業等」について

○背景

2023年諮問会議にて話題に上がる

日本栄養士会は職域事業部の活動に政策集団としての活動を加えていく方針を打ち出した。そのことにより政策を考えた時、勤労者支援事業部と地域活動事業部を統合するという結果になった。

但し、各都道府県の対応は、公益事業との活動が中心となるため統合するか否かは各都道府県にゆだねるということになった。

(2023年10月3日 旧三役、勤労者支援事業部部長、地域活動事業部長 会議より)

勤労者支援事業部：部内の人数が少ないこと、部員の高齢化を鑑み統合に賛成という意見と、統合することにより今以上に勤労者にとっての情報が少なくなってしまうのではないか。会員でいることの意味があるか、との意見もあった。

地域活動事業部：統合に反対はなく、むしろ統合することで新たな情報が入るメリットがあるとした。

旧三役：関東甲信越地区の他県は早急に統合せず様子を見るという意見が多かった。

当事者双方の会員の気持ちが重要。

結論

最終的には統合という形になると思われるが、新潟県としては、2024・2025年度は早急に統合せず、他県の様子を見て状況確認し、さらの双方の会員が納得して統合できるよう説明を重ねていく。2024・2025年度は双方の活動において、研修会等の事業についてそれぞれの会員が自由に参加できる対応をとり、お互いの職域の理解を深めることとした。(2023年10月理事会にて報告された)

○統合までのスケジュール

2025年10月理事会 勤労者支援事業部・地域活動事業部 統合の承認

2025年12月役員選任の告示 郵送

2026年1月 新理事推薦締切

2026年6月総会 役員改選 理事承認「フリーランス・栄養関連企業等」事業部長

○定款

第42条 会員のその従事する職務領域に応じた専門性を向上させるために、本会に、別に定める職域ごとに事業部を置く。

2 職域事業部の設置及び運営に関する規程は、理事会で定める。

令和6年度関東甲信越地区栄養士会長会議（連盟・行政合同）

2024年8月28日～29日 栃木県宇都宮市 ホテルニューイタヤ

■統一議題

(1) 会員増対策 [他県の対策：主なもの]

1) 養成校へのアプローチ

- ・養成校教員への広報、情報交換、情報提供（研修会）等
（医療5団体で研究会を発足し定期的に研修会を開催する等）
- ・各支部長または研究・教育職域事業部理事等を通して、養成校に栄養士のPR活動
（入会メリット：入会による責任保険への加入など職務上のリスク対策等の説明）
- ・入学時、卒業時、栄養ワンドーで栄養士会活動の周知
- ・養成校で栄養士会会長が講義
- ・研究教育理事と県栄養士会で作成した「学生用入会案内用紙」を1年生から4年生に配布
- ・機関紙の大プロジェクト版を全栄養士施設に配布
- ・臨地校外実習の報告会を教員と職域理事も参加し、理解促進を図っている。

2) 学生へのアプローチ

- ・県栄養士会への学生登録制度を構築（研修会の無料参加、国試対策講座の実施等）
- ・学生への公式LINE案内
- ・「フレッシュダイエティシアン研修」を実施（各職域活動、職業倫理、災害支援活動紹介等）
- ・県主催の研究発表会、県栄養士大会、栄養改善学会、他研究会へ学生参加を呼びかけ（無料）
- ・県が開催した「栄養の日」のイベントに学生が参加
- ・学生に対し「卵会員の会員書」発行
- ・「大学生向け朝食摂取率向上プロジェクト」として、学生が考案した簡単朝食をSNSで発信
- ・「Zoomなんでも相談の会」を実施
- ・V-ネット支援事業（JDA-DAT兵庫と連携し、地域に貢献できる学生ボランティアネットワークづくりを進めている
- ・同職種連携ができるよう「オンライントークライブ」を実施
- ・自治体が行う健康祭りなどのイベントに学生も参加してもらう
- ・HPに「学生の皆様へ」ページを作り、栄養士会入会のメリット、就業先を掲載している
- ・養成校の大学祭などで、県栄養士会のブース展示を行っている

3) 持続可能な就業支援

- ・新採用者に対する先輩からの支援
- ・受託給食会社への入会勧誘
- ・施設別入会促進（施設別に入会者を調べ、入会者が少ない施設に対して、各職域理事から勧誘）
- ・就業先の会員からの入会勧誘の促進
- ・会員から栄養士会活動の情報提供、栄養士会へ入会することへの機運を醸成
- ・無料商業紹介所の実施（次年度卒業する学生に就業先紹介）
- ・臨地実習先管理栄養士・栄養士から入会を勧める
- ・各職域をとおし、組織率向上を依頼
- ・所属長への声かけ（定期的なリレー研修会10回/年）の実施
- ・エリアが広いので、地区交流会（非会員も誘う）を実施
- ・「若手サロン」の開催

4) 無関心層等への発信力強化、その他

- ・非会員向けチラシの作成
- ・非会員向けに研修会の案内
- ・全ての研修会をハイブリットで開催。YouTube で流す
- ・HP、公式 LINE、公式インスタ、会員からの声かけの 4 つで情報発信強化
- ・LINE を活用した研修会の開催通知、情報発信、入会勧誘
- ・会員外でも登録できる LINE の解説を行い、定期的に情報発信している
- ・非会員も登録できるメルマガの構築
- ・魅力的な研修会を企画し、受講のメリットを体験してもらう
- ・イベントや研修の様子をフェイスブックで即時に発信
- ・養成校以外に、入会案内を置かせていただけたところを確認
- ・新規入会、再入会、所属会員を出身校を分析、アプローチ
- ・賛助会員サイトからの情報発信への協力依頼
- ・会員の少ない保育園、福祉関連栄養士に対しては、「災害」をキーワードにすると興味を示す。
- ・広報誌や HP に、栄養士会入会の意義、活動内容を掲載
- ・あらゆる機会を利用しパンフレットを配布

(2) トリプル改定における都道府県栄養ケア・ステーションの役割と今後の課題

→栄養ケア・ステーションは、保健型、医療型・福祉型がある。それぞれの栄養ケア・ステは、どこを目指すのか、明確にする必要がある。

機能強化型から認定栄養ケア・ステへの変更、その逆も多くなっている。

機能強化型は病院やクリニックに開設しているところが多い（メリット、病院やクリニックの周知拡大等）。現在、日栄でも課題とそれに対する対応を整理している。

(3) 健康日本 21（第三次）に対する都道府県栄養士会との情報交換

■各県栄養士会の課題（主なもの）

1) 栄養ケア・ステーションの登録人材の確保、人材育成

地域で活動できる人材の高齢化、医師会との連携不足、在宅訪問栄養指導が増加しない等

2) 会員への文書発送（効率的な方法は？）金額、手間の問題

文書扱いまたは信書扱い？ 佐川急便:ダイレクトメール（透明な袋）

3) 県との災害協定を結んだ中で、具体的な災害受入れ対応、他支援団体との調整

防災基本計画、医療福祉の専門の中に JDA-DAT 位置付けられている

骨太方針（国家戦略）

日栄 HP：栄養業界ニュースで検索してほしい <https://www.dietitian.or.jp/trends/2024/368.html>

4) 現地域活動と勤労者支援を、フリーランス・栄養関連事業部の 1 本化について

確認→県栄養士会の総会に諮る必要はないのか確認

5) 日本臨床栄養協会から、管理栄養士がいない診療所の医師を対象に、「栄養指導せん発行 WEB ツールの提供が開始された」。各県ではどのような対応をしているか？

（現在ビジネスモデル、実装研究中？ 活用の有無は県の状況に応じて検討

■栄養士連盟の課題

会員減→対策：「議員立法」を周知する・日本の法律は自民党の議員にお願いしないと法律が成り立たない。管理栄養士・栄養士の処遇改善、配置等の法律を改正するためには、日栄が法律改正に向けて、エビデンスに基づく政策を作り、栄養士連盟がその政策を議員にお願いする必要がある。会員には、管理栄養士・栄養士の将来に向け、両輪で活動する必要があることの説明をしっかりと周知する必要がある。

ホームページにおける食形態一覧表提示について

○2024年10月10日まで：手順①～③

The screenshot shows the NiDA website homepage. Step 1 is a red circle highlighting the '食のお役立ち情報' (Food Support Information) menu item in the top navigation bar. Step 2 is a red circle highlighting the '高齢者の食事/病院・施設の食形態' (Elderly Meals/Nursing Home/Facility Meal Types) link in the '食のお役立ち情報' dropdown menu.

The screenshot shows the 'にいがた食形態一覧' (Niigata Meal Type List) page. Step 3 is a red circle highlighting the '高齢者の食事（病院・施設の食事形態一覧）' (Elderly Meals (Nursing Home/Facility Meal Type List)) link. Below the link, there is a list of links for various regions and facilities, including Niigata City Central District, Utsunomiya City, Murakami City, and others.

○2024年10月10日変更後

目的：同職種・多職種連携

ワンクリックで知ることができる

研修会・学会情報

NiDA 公益社団法人 新潟県栄養士会

サイト内検索

お電話でのお問い合わせはこちら 025-224-5966

会員専用ページ

当会のご案内 活動紹介 栄養ケア・ステーション 食のお役立ち情報 入会のご案内

災害情報 研修会情報 求人情報一覧 賛助会員 新潟栄養食生活学会

お知らせ

全て 事務局 賛助会員 研修会 ケア・ステーション 申請書 ご案内

賛助会員	2024年9月18日	㈱ブルボン様より『しっとりソフトクッキーシリーズ』のご紹介 New
ご案内	2024年9月18日	医療者・介護者向け支援セミナーのご案内 New
事務局	2024年9月18日	令和6年度在宅医療（栄養）推進事業 新潟市支部研修会開催のご案内 New
ご案内	2024年9月5日	新潟県在宅医療推進フォーラム第16回在宅ケアを考える集いin越後2024のおしらせ New
ケア・ステーション	2024年9月5日	【配信ページ】CSセミナー New
事務局	2024年8月21日	令和6年度 新潟県栄養士会福祉事業部実務研修会の開催について(案内) New
事務局	2024年8月21日	第19回 新潟口腔ケア研究会のおしらせ New
6510d1582513	2024年8月15日	2024年度 生涯教育研修会受講ページ
ご案内	2024年7月31日	北陸の食文化食べて応援しよう

高齢者の食事/病院・施設の食事形態

2025 年度上半期の代表理事、専務理事業務執行報告

○齋藤会長

No.	月 日	曜日	職務内容	会 場
1	6月17日	月	令和6年度新潟県健診保健指導支援協議会総会	新潟県自治会館別館
2	6月19日	水	令和6年度新潟県老人福祉施設協議会第1回総会	新潟ユニゾンプラザ
3	6月19日	水	会長就任挨拶（新潟県後期高齢者医療広域連合、新潟県福祉保健部（部長、副部長）／健康づくり支援課、高齢福祉保健課、地域医療政策課）	新潟県自治会館、県庁
4	6月20日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
5	6月26日	水	令和5年度在宅訪問栄養食事相談事業評価会議	新潟県自治会館
6	6月27日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
7	6月27日	木	令和6年度在宅医療（栄養）推進事業第1回評価委員会	web
8	7月1日	月	会長就任挨拶（新潟県薬剤師会）	新潟県薬剤師会館
9	7月1日	月	新潟県栄養ケア・ステーション基金事業打合せ	クロスバル新潟
10	7月1日	月	三役（会長、副会長、専務理事）、事務局長会議	クロスバル新潟
11	7月4日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
12	7月4日	木	会長就任挨拶（新潟市医師会、新潟県看護協会、新潟県医師会）	新潟市総合医療センター、新潟県看護研修センター、新潟県医師会
13	7月5日	金	2024年度（公社）新潟県栄養士会 常任理事会	ユニゾンプラザ
14	7月11日	木	会長就任挨拶（新潟県歯科医師会）	新潟県歯科医師会館
15	7月11日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
16	7月18日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
17	7月19日	金	県栄養職員採用予定者面接	新潟県栄養士会事務局
18	7月20日	土	2024年度（公社）新潟県栄養士会第3回理事会	新潟ユニゾンプラザ
19	7月22日	月	令和6年度新潟市健康づくり推進委員会	新潟市保健所
20	7月23日	火	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
21	7月23日	火	新潟骨を守る会会議	web
22	7月30日	火	3役（会長、副会長、専務理事）、事務局長会議	web
23	7月31日	水	令和6年度第1回新潟県保険者協議会	新潟県自治会館
24	7月31日	水	新潟県栄養CS基金事業打合せ	クロスバル新潟
25	7月31日	水	令和6年度第1回新潟市歯科保健推進会議	新潟市総合医療センター
26	8月1日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
27	8月1日	木	令和6年度第1回新潟県歯科保健医療対策委員会	新潟県自治会館
28	8月5日	月	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
29	8月6日	火	会員増対策委員会	web
30	8月9日	金	新潟県栄養士大会打合せ	web
31	8月19日	月	オープンハウス委（とよみ栄養ケア・ステーション）視察	山形県鶴岡市
32	8月20日	火	令和6年度新潟市食育推進会議の事前説明	新潟県栄養士会事務局
33	8月20日	火	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
34	8月26日	月	令和6年度健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議（第1回）	新潟県自治会館
35	8月26日	月	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
36	8月26日	月	令和6年度新潟県栄養士会公衆衛生事業部第2回役員会	web
37	8月27日	火	長岡中央総合病院訪問	長岡中央総合病院
38	8月28-29日	水木	令和6年関東甲信越地区栄養士会長会議	宇都宮：ホテルニューイタヤ
39	8月30日	金	令和6年度新潟市食育推進会議の事前説明	古町フルフル
40	9月2日	月	新潟県栄養士会80周年記念事業打合せ	web
41	9月2日	月	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
42	9月3日	火	令和6年度新潟県食育推進会議事前打ち合わせ	web
43	9月3日	火	第28回新潟県老人福祉施設研究大会	新潟ユニゾンプラザ
44	9月9日	月	令和6年度第1回新潟県食育推進会議	新潟県自治会館別館
45	9月11日	水	令和6年度第1回新潟県国民健康保険運営協議会	新潟県庁行政庁舎
46	9月11日	水	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
47	9月14日	土	令和6年度健康づくり提唱のつどい	新潟県民会館
48	9月19日	木	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
49	9月21日	土	新潟県認定栄養ケア・ステーション報告会	新潟ユニゾンプラザ
50	9月24日	火	事務局打合せ（会長、専務理事、事務局長）	新潟県栄養士会事務局
51	9月30日	月	三役（会長、副会長、専務理事）、事務局長会議	クロスバル新潟

○村山副会長

No.	月 日	曜日	職務内容	会 場
1	6月20日	木	新潟市難病対策地域協議会 第1回部会	新潟市総合保健医療センター
2	6月22・23日	土日	日本栄養士会総会	パシフィコ横浜
3	7月1日	月	三役会議	新潟市生涯学習センター
4	7月5日	金	新潟県栄養士会常任理事会	新潟県女性センター交流室
5	7月20日	土	新潟県栄養士会理事会	新潟県女性センター交流室
6	7月22日	月	新潟県健康づくり財団フレイル対策二次予防事業実施報告会	新潟県医師会館
7	7月25日	木	広報事業部役員会	Zoom
8	7月30日	火	三役会議	Zoom
9	8月3日	土	研修部役員会（栄養士大会について）	Zoom
10	8月6日	火	会員増対策委員会	Zoom
11	8月9日	金	三役・研修部役員会（栄養士大会について）	Zoom
12	8月22日	木	事業部長・職域事業部長ほか+研修部役員会（栄養士大会について）	Zoom
13	8月27日	火	広報事業部HP委員役員会	Zoom
14	9月2日	月	80周年実行委員会	Zoom
15	9月14日	土	健康づくり提唱のつどい	県民会館小ホール
16	9月21日	土	認定ケアステーション報告会	新潟ユニゾンプラザ
17	9月26日	木	広報事業部役員会	Zoom
18	9月30日	月	三役会議	新潟市生涯学習センター

○高橋副会長

No.	月 日		職務内容	会 場
1	7月1日	月	三役会議：常任理事会、理事会の資料及び次第の検討	クロスパル新潟
2	7月5日	金	常任理事会：常任理事顔合わせ、理事会の資料及び次第の検討	ユニゾンプラザ2階女性団体交流室2
3	7月20日	土	第3回理事会：理事顔合わせ、2024・2025年度活動計画等	ユニゾンプラザ2階女性団体交流室2
4	7月24日	水	在宅医療(栄養)推進事業 第2回ツール委員会 2024年度情報提供書作成に関するアンケート内容について	ZOOM面談
5	7月30日	火	三役会議：2024年度栄養士大会内容事前検討	ZOOM面談
6	8月6日	火	第1回 会員増対策会議	ZOOM面談
7	8月9日	金	栄養士大会打ち合わせ会議：栄養士大会内容、タイムスケジュールの検討	ZOOM面談
8	8月12日	月	事業部会：打ち合わせ(年間スケジュール作成、災害支援活動マニュアルの検討)	長岡市中央公民館（さいわいプラザ）
9	8月20日	火	第1回災害対策委員会:JDA-DATスタッフ養成研修内容と分担、スタッフ教育研修について	ZOOM面談
10	8月21日	水	在宅医療(栄養)推進事業 第3回ツール委員会：アンケート内容について	ZOOM面談
11	8月22日	木	栄養士大会：大会内容、スケジュールの検討	ZOOM面談
12	9月2日	月	第1回栄養士80周年記念式典実行委員会：内容検討	ZOOM面談
13	9月14日	土	健康づくり提唱のつどい（認知症を予防するには）：会場設営、閉会あいさつ	新潟県民会館
14	9月25日	水	第4回ツール委員会:アンケート内容について、にいがた食形態一覧について	ZOOM面談
15	9月30日	月	三役会議:常任理事会内容打ち合わせ	クロスパル新潟

○山田専務理事

No.	月 日	曜日	職務内容	会 場
1	2024.06.19	水	新旧役員交代挨拶訪問（広域連合～県庁保健福祉部長～健康づくり支援課～地域医療政策課～高齢福祉課）15:00～	新潟県自治会館・新潟県庁
2	2024.06.20	木	3MEG	事務局108号室
3	2024.06.26	水	在宅訪問栄養食事相談事業 評価会議 14:00～	自治会館本館3階 会議室
4	2024.06.27	木	3MEG	事務局108号室
5	2024.06.27	木	基金第1回評価委員会	zoom
6	2024.07.01	月	基金打ち合わせ	クロスパル新潟401号室
7	2024.07.01	月	三役会議	クロスパル新潟401号室
8	2024.07.04	木	3MEG	事務局108号室
9	2024.07.05	金	常任理事会	ユニゾン女団交2
10	2024.07.10	水	地域包括ケア支援専門職協議会実行委員会（新任助言者向け研修会）	ZOOM
11	2024.07.11	木	3MEG	事務局108号室
12	2024.07.18	木	3MEG	事務局108号室
13	2024.07.20	土	理事会	ユニゾン女団交2
14	2024.07.23	火	3MEG	事務局108号室
15	2024.07.24	水	基金事業_ツール委員会	ZOOM
16	2024.07.25	木	米ふれあい従事者事前研修	東区プラザ
17	2024.07.30	火	三役会議	ZOOM
18	2024.07.31	水	栄養ケア・ステーション部打ち合わせ	クロスパル新潟301号室
19	2024.08.01	木	3MEG	事務局108号室
20	2024.08.02	金	各種顕彰・表彰委員会	ZOOM
21	2024.08.05	月	3MEG	事務局108号室
22	2024.08.06	火	会員増対策委員会	ZOOM
23	2024.08.09	金	栄養士大会検討委員会	ZOOM
24	2024.08.16	金	地域ケア個別会議助言者初任者研修に関する打ち合わせ	ZOOM
25	2024.08.19	月	認定栄養ケアステーションとよみ訪問	山形県鶴岡市
26	2024.08.20	火	3MEG	事務局108号室
27	2024.08.20	火	災害対策委員会	ZOOM
28	2024.08.21	水	基金ツール委員会	ZOOM
29	2024.08.22	木	栄養士大会打ち合わせ	ZOOM
30	2024.08.25	日	地域ケア会議新任助言者研修_地域ケア支援専門職協議会実行委員	新潟医療福祉大学
31	2024.08.26	月	3MEG	事務局108号室
32	2024.08.27	火	ホームページ委員会	ZOOM
33	2024.08.28	水	留置施設視察事前説明	新潟県警
34	2024.08.30	金	新潟県警留置施設視察	燕・三条留置施設
35	2024.09.02	月	3MEG	事務局108号室
36	2024.09.02	月	80周年記念打ち合わせ	ZOOM
37	2024.09.04	水	提唱のつどい会場下見	県民会館小ホール
38	2024.09.11	水	3MEG	事務局108号室
39	2024.09.11	水	県庁担当者来年度在宅事業打ち合わせ	事務局108号室
40	2024.09.14	土	健康づくり提唱のつどい	県民会館小ホール
41	2024.09.18	水	JA新潟県米消費拡大推進協議会来所	事務局108号室
42	2024.09.19	木	3MEG	事務局108号室
43	2024.09.21	土	新潟県認定栄養ケアステーション報告会	ユニゾン女団交1
44	2024.09.24	火	3MEG	事務局108号室
45	2024.09.25	水	在宅基金事業ツール委員会	ZOOM
46	2024.09.29	日	新潟県在宅医療推進フォーラム 第16回在宅ケアを考える集いin越後2024	アークホテル
47	2024.09.30	月	三役会議	クロスパル新潟401講座室

2025年度事業予算提出の留意事項等について

【留意点】

- 1 計画作成に当たっては、必ず事業を振り返り、必要性・成果等を総合的に判断し、必要な事業の実施計画を提出してください。
- 2 市町村など地方自治体や関係団体からの依頼事業は、事業名の後に主催団体名をカッコ書きで記入ください。

記入例：○○まつり（主催：○○市○○課）

3 事業内容の記入方法

- ・当日の実施内容だけでなく、事前の打合せ会議（実行委員会）も、予定回数も併せて記入ください。
- ・市町村など地方自治体や関係団体から当日の日当・旅費・材料費等が支給される場合は、参考までに事業内容の欄にその旨を記入してください。

4 事業実施において、事業規模や参加者数に見合った役員数で従事してください。

役員は当番制で従事するなど、役員負担の軽減及び経費削減に配慮をお願いいたします。

5 予算作成上の確認

① 旅費日当について

役員会・・・会場開催は旅費のみ、Zoom開催は日当500円
会議はZoom開催を主体としてください。

公益1・2事業・・・事業当日は旅費+日当

（4時間未満500円、4時間以上1000円）

打ち合わせ会議は役員会に準ずる。

【事業計画書の提出等】

○事業計画書（様式）は2024年度版を用いて作成してください。

年度・日付・作成者名および内容を加筆修正し、2025年度計画しない事業は赤字で計画なしと記載し、新たな計画はシートを追加して欄外に「新規事業」と記載し作成してください。

12月12日（木）までに提出願います。**締切厳守**

○提出いただいた計画書は、事業部理事が内容の精査を行います。

精査の結果、修正が必要な場合は連絡をいたしますので、対応をお願いします。

【連絡】

- ① 2025年度の新潟県・市町村防災訓練は出雲崎町（予定）となりますので、長岡支部長が会議の参加となります。

事業計画、予算は今年度を参考に県栄で作成し、長岡支部長にご確認いただきます。

- ② 毎年がん征圧新潟県大会&生活習慣病予防展が開催され、開催地の支部に参加をお願いしております。

2025年度の開催地は未定なので、わかり次第担当支部にご連絡します。

その際は生活習慣病予防展でのブースでの展示、栄養指導をお願いします。

（2024年度は五泉で開催のため担当は新潟市支部でした）

- ② 支部交流会では栄養ケア担当者の情報提供もお願いします。

(公社)新潟県栄養士会【様式F】
提出はメールに添付してください

【2024年度事業 計画書・報告書】

本部事務局記入	該当に <input checked="" type="checkbox"/> を記入してください	記入箇所	提出日
事業コード	052	<input checked="" type="checkbox"/> 計画書	①事業内容 ②収支予算 西暦 2024 年 12 月 9 日
		<input type="checkbox"/> 報告書	①事業内容 ②収支実績 ③付随提出書類 西暦 年 月 日

①【事業内容】

支部・職域事業名	新潟市支部		
事業区分	該当に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	(<input checked="" type="checkbox"/>)公1 ()公2 ()管理	
事業名	歯と口の健康フェア(新潟市歯科医師会に協力)		
実施日①	西暦 2024 年 6 月 日 () 時 分 ~ 時 分		
実施日② (複数日の場合)	開催未定		
作成者	氏名 長谷川美代	連絡先	090-1691-4524
事業テーマ	歯と口の健康		
目的	子供から高齢者を対象に、口腔ケアの重要性を示し、いくつになっても健康な歯を保持出来る様に啓蒙活動を行う		
実施場所	未定		
対象及び出席人数	一般市民		
従事者 (計画書:人数) (報告書:氏名)	5~6人位の予定		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健口食育クイズ(カルシウムクイズ) ・1日に必要なカルシウム量を食品を用いて展示 ・カルシウムの多いお菓子のサンプル品の提供 ・バランスの良い食事について ・フレイル・サルコペニア予防のパンフレットを配布 ・パタカラ体操について紹介 		
効果・成果 (計画書:期待できる効果) (報告書:成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・カルシウムが歯と口の健康に必要であることを学ぶ ・食品展示やカルシウムクイズを通して、カルシウムの多い食品を知ることができる ・1日に必要なカルシウム量を実際に見てもらい、より具体的なイメージにつなげる ・歯の状態が低下すると栄養状態が徐々に低下し、日常生活の機能低下、フレイル・サルコペニアへとつながる。 ・パタカラ体操などの口周辺の体操は噛む力、飲み込む力(摂食嚥下機能)の維持につながることを学ぶ 		

本部事務局 回覧	会長	専務	事務局長	事務局	

取受印

②【収支】

	項目名	予算額	実績額	差額	摘要	
収入	参加費(会員)			0		
	参加費(一般)			0		
	展示料(賛助会員)			0		
	展示料(一般)			0		
				0		
				0		
	収入計	0	0	0		
	支出	スタッフ旅費(当日)	10,800		10,800	旅費5人×1000円,1日1,000円,半日1,000円×4人,駐車代4人
		事前準備、反省会旅費	6,000		6,000	事前準備2回,反省会1回計3回 旅費2人分×1000円×3回
		通信費(郵便料、Fax料等)			0	
印刷製本費(外注)				0		
消耗品費(事務用品,COPY等)				0		
消耗品費(食材料費)				0		
講師(謝金)				0		
講師(旅費)				0		
講師(茶等)				0		
必要経費				0	歯科医師会に実費請求	
				0		
				0		
支出計		16,800	0	16,800		
収支	-16,800	0	-16,800			

③【付随提出書類】 報告書の時のみ記入してください

付随提出書類について下記該当に を入れ、必要事項を記入してください

<p>■旅費申請書(様式R)</p> <p>()有り ()無し</p> <p>有りの場合 報告書に添付し、①収入 ①報告書のスタッフ旅費 実績額に金額を入力してください</p> <p>②必ずこの報告書と一緒に提出してください(メールに添付)</p>	<p>■その他 ()有り ()無し</p> <p>有りの場合</p> <p>() 経費申請書(様式E) 申請者氏名</p> <p>() S) 謝金支払・旅費申請書(様式) 申請者氏名</p> <p>() 会場費請求書等 申請者氏名</p> <p>() その他 申請者氏名</p> <p>その他の書類名</p>
--	--

12月12日(木) 締切厳守

各種会議等の議事録作成について（例）

会議名：○○○○○○○○○○事業部または支部 ○○委員会 議事録

1 日 時：令 2024 年 7 月 9 日（火） 17:00～18:10

2 場 所：Zoom を用いたオンライン会議

3 出席者（順不同、敬称略）：**氏名、会議参加の立場、所属等がわかるように記載してください**

○○○○○（○○事業部長）

○○○○○（○○事業副部長）

▲○○○○○（○○事業部員）

○○○○○（○○支部長）

○○○○○（県栄事務局）

▲議事録作成

欠席者（順不同、敬称略）：

○○○○○（○○事業部員）

4 次第 **最初に議題内容をまとめてください**

1. 2025 年生涯教育計画（案）
2. 講師選定について
3. その他報告など

5 会議経過の概要および結果 **話し合った内容、結論を簡潔かつわかりやすくまとめてください。**

1. 2025 年生涯教育計画（案）

議長より、2025 年度の事業計画（案）が説明された。

2025 年度の 5 回の研修会案について、審議した結果、…についての研修はとりやめ、その代わりに…に関する研修を組み込んではどうかという提案があり、全員一致で 2025 年度事業計画（案）は承認された。

2. 講師選定について

委員長より、それぞれの研修会の講師については、次回の会議（予定日 ）まで、各委員が候補者の先生を探してほしいという説明がなされた。

参加者は、全員、次回の会議前までに、候補者名と所属を委員長に知らせることとなった。

3. ○○支部長から、○○に関する情報提供がなされた。

【配付資料】

資料 1 2025 年生涯教育計画（案）

資料 2 ○○○○○○

ご留意いただきたいこと：議事録作成者は、議事録作成後、会議参加者に議事録案を確認していただき、（案）を消した最終の議事録および配布資料を、県栄にご提出いただきますようお願いいたします。

新潟県栄養士会として活動する際の留意事項について

新潟県栄養士会の会員として活動する**すべての活動**について

・主催担当者（依頼主）は依頼文書を新潟県栄養士会へ送付していただき、県栄から支部・担当者へ転送。

・現在、依頼主から新潟県栄養士会としての活動依頼が、支部長または個人へ文書郵送またはメール等で行われている場合は、

受け取った方は、速やかに県栄へ転送し情報共有を図るようお願いいたします。

また、依頼主（主催担当者）へ直接「次回より県栄へ送ってください」旨をお伝えください。

個人で請け負っている活動については、今まで通りでかまいません。

○県栄依頼の理由

- ① 新潟県栄養士会が事業主体である事
- ② 活動時に発生した事故が保険対象の場合、活動・活動者に対して保証（団体総合保障制度費用保険）されること
- ③ 支部長及び個人による文書受け取りの負担軽減
- ④ 県栄把握

追加資料：報告_研修部

ポスター実践発表 学術部・研究教育事業部・学校教区事業部 報告

本企画の主旨としては、

1. 会員の研究や発表スキルの向上
2. 職域を超えた交流を図る

になります。

そのため、一部の事業部だけが発表するのではなく、全職域事業部から発表をお願いいたします。研究や実践発表というと不安を感じる職域事業部もあると思いますが、内容の指定は特に設けません。普段の業務や取り組み、活動などの紹介、またそれに対する課題についてなどでも結構です。内容は新規のものではなく、過去に発表・報告したものでも構いません。発表者と参加者でディスカッション（質問、アドバイス、意見交換など）を行い、職域にとらわれない新しいつながりが生まれるよう運営していきたいと考えています。

発表はポスターまたはパソコンを使用した形式

座長 2 名、発表者は 8 名（医療 1、福祉 1、学校 1、公衆衛生 1，研究 2、地域 1，勤労者支援 1）

座長 1 名と演者 4 名を 2 グループづくり、2 グループ同時進行

座長が進行し、演者は一人 7 分 30 秒（発表は 6 分程度）で発表

13:30-14:00 までが発表時間になりますが、可能なら 14:30 までポスター前での滞在をお願いする予定です。

これから検討しますが、少し予算がつくことになりましたので、奨励賞や会長賞なども計画し、「参加者が次は私も発表したい」と思ってもらえるような仕組みも考えていきたいと思っています。